

（仮称）古河市新公会堂基本構想・基本計画
【資料編】



令和7年9月

古河市

－ 目 次 －

1. 市民ワークショップ（WS）	1
1.1. ニュースレター	1
2. 中高生ワークショップ（WS）	11
2.1. ニュースレター	11
3. ヒアリング記録	15
3.1. 学校ヒアリング記録	16
3.2. ダンス教室ヒアリング記録	24
4. 建設候補地の検討結果	26
4.1. 各候補地の特徴	26
4.2. 候補地に求められること	28
4.3. 候補地 1 の検討結果	30
4.4. 候補地 2 の検討結果	39
5. パネル展・意見ヒアリング	48
5.1. アンケート結果	48
5.2. 展示・配布資料	85
5.3. ニュースレター	91

1. 市民ワークショップ（WS）

1.1. ニュースレター

第1回 令和5年12月16日（土） テーマ「古河のじまん・ふまんを考えよう」

古河市新公会堂を考える 市民ワークショップニュースレター
テーマ「古河のじまん・ふまんを考えよう」

市民WS ニュースレター（仮）

Vol. 1

新たに整備を進めている（仮称）新公会堂について、様々な世代のご意見を伺うため、「第1回（仮称）古河市新公会堂を考える市民ワークショップ」を開催しました。グループワークでは、活発な議論が交わされました。たくさんのご意見ありがとうございました。

開催概要

日時 12/16（土）
10：00～12：00

参加者 古河市在住の市民 28 名

会場 ヤクルトはなももプラザ 会議室

プログラム

- これまでの検討経緯
- ワークショップについて
- グループワーク
- グループ発表（1 チーム 5 分程度）
- 次回予告・なんでもアンケートの記入等

ツリーチーム

じまん

- ・ネーブルパークや公方公園といった大きな公園がある
- ・吹奏楽市民バンドコンクールでは、多数の賞を受賞している

ふまん

- ・市外から人が集まるわかりやすい場所
- ・各施設の収容人数に対する駐車場の少なさ
- ・文化芸術に触れる機会や場所が少ない
- ・文化活動（特に音楽を表現する）の場がない



くつしたチーム

じまん

- ・都心まで1時間程度でアクセスができる
- ・広い耕地や田畑山に恵まれている

ふまん

- ・道の駅まくらがあるが、基本車移動
- ・「古河市」の知名度が低い
- ・市民全体の集まれるような場所・イベントがない（旧古河、総和、三和で分断している）
- ・地域住民の憩いの場所がない



七面鳥チーム

じまん

- ・都心部へのアクセスのよさ
- ・吹奏楽が盛んな町である

ふまん

- ・子育ての施設が少ない
- ・市民の交流スペースが少ない
- ・練習の場が少ない
- ・市民が発表会等で市外の施設を利用している



ひいらぎチーム

じまん

- ・建築学会賞受賞の歴史博物館がある
- ・歴史と自然のわたらせ遊水地がある

ふまん

- ・プロの歌手やコンサート等を呼べない
- ・中高生等の部活動での発表の場がない
- ・気軽に集まれる場所が少ない



いずれのチームにおいても、市民が文化芸術活動を発表・練習できるような場所が不足しているとの意見が挙がりました。また、古河市のイベントや施設について、知名度が低いという意見を踏まえ、SNS等を活用し、行政からまちの情報を発信する必要があるとの提案もありました。

裏面ではグループワークで出たご意見を紹介しています！

図 1.1 第1回市民WS ニュースレター（1/2）

グループワークでは、①古河市のじまん・ふまん、②古河市の文化施設・文化活動に関するじまん・ふまんについて、班ごとに議論していただきました。

グループワークでのご意見			
じまん		ふまん	
まち	快速駅！始発駅！都内まで1時間！/都心へのアクセス便利な街	文化施設のPRが少ない/渡良瀬遊水地のPR不足/市外へのアピール不足	PR
	他県へのアクセスがよい！	せっかくの街並みや施設があるのに生かしていない/外からの人を呼べていない	
	圧迫すぎず都会すぎない/交通利便性	お土産がない/観光名所がない/市民観光案内の設置方法が不適切	イベント
	交通の便のよさ JR・国道・IC/どこへも行きやすい（都内・地方）	大きな祭りやイベントがなくなってしまった/プロの歌手やコンサート等呼べない	
	立地条件良好/立地/交通道路/都内まで電車で1時間程度で行ける	市民全体の集まれるような場所・イベントがない（旧古河、総和、三和で分断している）	駅・交通 立地条件
	高層の古河駅はホームから改札出口まで楽	公共交通が整備されていない/駅周りの渋滞/交通渋滞が多い/道の駅まわりの利便性、基本車移動	
	駅から街へ1本で行け、ほぼ直線/都心 時間/都内の通勤圏	駅に近い地域に駐車場のスペースがない/駐車場できる公園が少ない	環境
	JRの駅がある/閑寂の真ん中/県境にある/JR快速がとまる	古河駅西口がシャッター通り化してゆくこと。（未口も）/古河市の顔である駅前がさびしい	
	広く場所が多い/人が優しい/コンパクトシティ	石畳が歩きにくい/道が狭い/道が悪い	施設
	広い緑地や田畑山	子供達の学ぶ環境の改善	
	（とりの人（家）とのトラブルが少ない）事件が少ない	合併して14万人都市に見合った市になっていない	公園
	公営公園。SANAの設計の売店がある	中高生等の部活発表場がない/駅周辺がしょぼい/中歩道が狭い	
	自然を生かした公園/公園がある	気候に集まれる場所が少ない（若者）/一人で気軽に過ごせる場所がない/室内で過ごせる施設が少ない	交流
	ネーブルパークや公園といった大きな公園がある。	図書館などの施設が少ない/児童館がない/図書館が小さい/図書館が充実していない。子どもが歩きづらい	
	総合公園等の豊かな自然	文化施設への一歩は高いのにそれに答える施設は少ない/文化施設と生活施設の融合	生活
	人とのつながりがある/人が気さく、フレンドリー	音楽ホール美術館図書館展示室学習室等は1つになっていない	
	自然が多い/昔ながらの街並み/自然が多くのおんぼりできる	駅前であつた場所がない/イベントスペースがない	商業施設
	わたらせ周辺のゆやけ/歴史と自然のわたらせ遊水地	管理人の個性が強い/客が散見される/各施設の収容人数に対する駐車場の少なさ	
	「らんまん」でも使われたすばらしい自然	施設の維持管理不十分では？/施設のリニューアルがない/魅力の維持？	文化施設
	気球が見られる/花桃	公共施設が廃止されてゆくこと/古河駅地区への公共施設の集約	
	畑が多く農業の様子を見ることが出来る	雨の日に子供が遊べる場所がない/屋内で子供が遊ぶ場所がない子育ての施設が少ない/	有名
	渡良瀬遊水地が近い/水に関係が深い/利根川水道がある	公民館はあるが、大人のカルチャーセンターがない/体育館利用できない。家族、夜	
まちの文化	スーパーマーケット・ドラッグストア等が充実している	地域住民のいい場所がない/市民の交流スペースが少ない	認知度
	安心・安全の市/静かでおだやかで住みやすい町	大きなショッピングモールがない/大きな図書館や本屋がない	
	農工商バランスが良い	知名度無し（旧市町）	文化施設
	テレビでの紹介が多い。飲食店など/和菓子屋が多い/おいしい飲食店が多い	クラシックコンサート施設がない/建物が劣化しているままの感が大分使えなくなる	
	食べ物が新鮮でおいしいところ/甘露煮！	どんなところと聞かれてこれ！と言えるものがない	有名
	華彩美術館/街角美術館/山城まわり	古河地域のハザードマップ/人口減少/空き家が多い/豪雨時の水害（利根川が近い）	
	結婚学会賞受賞の歴史博物館がある	市外から人が集まるわかりやすい場所/施設設備が足りない/市の改善意識の低さ・遅さ	その他
	総和とプラスバンド部吹奏楽部	いざ避難をしようと思ったときにどこも一杯だった	
	スポーツオリンピックがある	休日は市外に出してしまう人が多い	その他
	撮影地として利用される場所が多い	すばらしい名の町名を失ってしまっただけ残念	
	災害が少ない/天災が少ない	1市・2町それぞれの育った環境から14万規模の"市民"になっていない	その他
	災害が少ない（大きな川（利根川）が市の隣を流れているので常に危険を感じているにもかかわらず）	旧市町単位での強が大きい/古河市の垣根たてわり	
	文化人が多く輩出されている	遊べる場所少ない	遊び
	「第九」のコンサートを開催できること	市外・郊外から人が呼べるような施設イベントが少ない/イベントの周知が届いていない	
	花火大祭3尺玉2発/ちょうちんもみ	交通網を活用できていない	駅・交通・立地条件
	夕日がきれい	ベッドタウン化している。定住人口、人口減少を予想しつつ計画	
	和菓子のお店が多い	工場見学ができない/収容人数が多い場所がない/映画館がない/小規模な施設が点在している	環境
	能楽/教えてもらったり伝えらる機会がある	演奏する施設がほかにない/練習の場が少ない/若い世代が利用できるスタジオや練習室が無いに等しい	
	長辺遊さん一家が古河大使としてイベント参加等のPRをしている	合併18年シブシブ的な施設がない/国際交流施設がない	施設
	人間国宝の方がいる	市民が発表会等で市外の施設を利用している/文化活動特に音楽を表現する場がない（小学生から）	
	公会堂を中心にしているような文化活動が行われてきた	大きなコンサートホールがない/小さい舞台はあるが、楽屋と直接つながっていない	人
	お寺・神社がすぐ多い	体育館は運動する所で音楽の演奏はしないほしい	
	提灯もみ祭り/お祭りがたくさんある/お祭り/桃祭り	ホール建設実現したら、本音ながらの練習をしたいため楽器などを常設しておける所を作してほしい	祭り
	大きな花火大会（数年前行われていませんが）	かなり古い体質	
	漆器美術館全国唯一/日光街道/古河歴史エリア風情がある	昔からあるイベント・おまつりが少なくなっている	歴史
	雪の結晶/雪の歌謡/古河公方、土井豊後その他	みんな公方様を知らない/歴史をもっとわかりやすく知りたいたい/歴史のすばらしい所を生かされていない	
	古河は城下町ということとその関係のある街並みが残っている	古い建物・堀など壊れていく/歴史的施設が多い（小京都として生かされていない）	文化施設
	公方様がいた/古河城があった/旧古河城の街並み/徳川家ゆかり	歩いてまたは自転車でも自分の足でいけるところに公会堂があった。罷もが、文化を楽しめた。	
	大名行列が通った	文化芸術に触れる機会が少ない/美術館がない/文化的な建造物が少ない	その他
	自慢：歴史あり・現代風に若い人が共感できるような動画配信などどうか？	世界の文化を感じられる文化センターがほしい。子どもの興味に応じて対応できるもの	
	市民吹奏楽団が50年以上も続いている。次で一新古い。	文化芸術に触れる機会が少ない。そういった場所が少ない。	その他
	文化・スポーツ面で実力がある/スポーツの街/リッカーが獲った	センターがないために、わざわざ他市町村の文化センターを利用しなければならない。子どもは遠すぎてひとりでは行けない。	
	吹奏楽が盛んな町である/吹奏楽市民バンドコンクールではたくさん賞をとっている	（象の）子象？（猪） 距離遠くってスペースだけかな？設備とか考えられているかな？	
	有名なものをつくりをしている企業や工場がある	観光が中途半端/子どもが文化に触れる機会がない	
	卒業生にテレビに出るくらいの芸能人がいる。活かせる場を！！		

次回予告！

第2回のワークショップのテーマは、「新公会堂でやりたいことを考える」です。（仮称）新公会堂で実施したい・観たい・体験したいイベントについて考え、年間カレンダーとしてまとめる回を予定しています！ニュースレター第2号の発行日は令和6年6月頃を予定しています。

図 1.2 第1回市民WS ニュースレター（2/2）

古河に行こーか

Vol.2

開催概要

日時 3/23(土) 10:00～12:00 参加者 古河市在住の市民22名
会場 ヤクルトはなももプラザ 会議室

プログラム

- 前回のふりかえり
- ワークショップについて・事例紹介
- グループワーク
- グループ発表（1チーム5分程度）
- 次回予告・なんでもアンケートの記入等

第2回テーマ「新公会堂でやりたいことを考えよう」

令和6年3月23日（土）、「新公会堂でやりたいことを考えよう」をテーマとした第2回市民ワークショップを開催し、総勢22名にご参加いただきました。

今回は、前回話し合った古河市の「じまん」を伸ばし、「ふまん」を解消していくために、（仮称）新公会堂でできることや、やってみたいこととして、年間スケジュールをチームごとに作成しました。季節ごとのイベントのアイデアだけでなく、通年でやりたいことも多くの意見が出ました。

また、イベントのアイデアだけではなく、ホールの座席数や鏡張りの練習室など、具体的な施設の機能に言及した意見も多く出るなど、活発に議論が行われていました。

ワークショップの目的について

令和5年7月より、（仮称）古河市新公会堂基本構想・基本計画市民委員会を開催し、ホールを専門分野とする委員長のもとで、施設のコンセプト・機能・規模・建設候補地等について検討を進めています。ワークショップで出た意見は、利用者となる市民の方の生の声として委員会で報告し、施設の機能や使い方の参考とさせていただきます。

ニュースレターのタイトル決定！

前回のワークショップの最後に参加者のみなさんから、ニュースレターのタイトルを募集し、投票によりタイトルを決定しました。（仮称）新公会堂によって、「古河に行こーか！」と思う人が増え、古河市も施設も賑わうことを願っています。

これまでとこれからのスケジュール

市民委員会

令和5年 第1回【7/13】
・委員会の設置、取組再開の経緯
・検討報告書の概要・スケジュール

第2回【10/17】
・ホール機能の概要
・建設候補地の評価項目

第3回【11/21】
・施設整備の基本的な考え方
・建設候補地の評価

令和6年 第4回【2/13】
・施設コンセプト・機能
・WS開催報告①

第5回【5月下旬予定】
・管理運営計画の概要
・ゾーニング案①・WS開催報告②

第6回【7月下旬予定】
・建設候補地の選定
・ゾーニング案②・WS開催報告③

第7回【12月上旬予定】
・基本構想・基本計画案①
・WS開催報告④

令和7年 第8回【3月上旬予定】
・基本構想・基本計画案②

WSでいただいた意見は、施設の機能や使い方の参考としていきます！

ワークショップ(WS)

第1回中高生WS【12/9】
「古河市のじまん・ふまん」

第1回市民WS【12/16】
「古河市のじまん・ふまん」

第2回市民WS【3/23】 **今回はココ！**
「新公会堂でやりたいことを考える」

第3回市民WS【4/27予定】
「新公会堂で必要な機能を考える」

第2回中高生WS【5/11予定】
「新公会堂のイベントカレンダーを考える」

第4回市民WS【6/1予定】
「新公会堂の使い方を考える」

第5回市民WS【7/6予定】
「まどめ」

各チームの様子

なのはなチーム



ダンス・ヒップホップや歌舞伎・狂言、講演会など幅広い使い方が出ました

うめチーム



吹奏楽をはじめ、音楽・演奏に特化した意見が多く出ました

ももチーム



事業運営に着目したイベントや付帯機能の提案もありました

チューリップチーム



年末の第九の市民による合唱も加わった大規模な利用の提案がありました

裏面ではグループワークで出たご意見を紹介していきます！

図 1.3 第2回市民WS ニュースレター（1/2）

ご意見のまとめ

なのはなチーム		ももチーム	
春		春	
・春フェス ・謝恩会（小・中） ・若者に向けた会社企業説明会 ・日本語スピーチコンテスト ・保育園等入園式	大ホール 練習室	・5月スプリングコンサート	大ホール
夏		夏	
・夏フェス ・盆踊り ・音楽フェス、夏、ひたちなかの様な屋外で映画上映会、ナイトシアター ・ピアガーデンイベント（夜） ・朝顔・風鈴で心をリラックス	大ホール その他	・8月サマーコンサート ・流しうめん ・キャンプ ・能楽堂	大ホール その他
秋		秋	
・秋フェス ・文化講演会 ・おけいこ事の発表会 ・小中高の学校の合唱大会や発表会 ・歌舞伎、狂言、奇席 etc ・書道、写真、絵画	大ホール 練習室 共用部	・11月オータムコンサート ・市小中学校音楽会 ・各中学校合唱コンクール ・運動会の可能なつくり	大ホール その他
冬		冬	
・冬フェス、クリスマスイベント ・成人式 ・第九合唱 ・プラネタリウム ・高校生（市内）バンド発表 ・クリスマスマルシェイベント	大ホール その他	・クリスマスコンサート ・2月ウィンターコンサート ・足湯 ・職業体験企業が順番に。（小中学生向け）	大ホール その他
通年		通年	
・講演会、シンポジウム、セミナー等 ・ダンス、ヒップホップ etc ・TV 中継、NHK のど自慢等 ・のど自慢大会、小中学校ピアノ等発表会 ・英語はフランクに話せる状況を作り出し、子供・親も外国人とコミュニケーションが取れる ・興業利用可には 1500 席以上 ・外部からのコンサートやお芝居 ・ホリプロと提携しているので、芸人や音楽で盛り上げる ・時間ごとに演歌、7、80 年代ディスコ、外国民族舞踊 ・ミニコンサート、ジャズ、落語 ・各学校の部活練習 ・演劇ワークショップ、劇団員のもと演技体験 ・個人でも使用可の楽器練習できる防音室 ・防音の部屋 ・学生の勉強室 ・一人でからっとパソコン作業 ・子ども図書館、読み聞かせあり ・持ち込みお弁当可能なスペース、部屋 ・いきなりミーティングできる、予約なし！ ・ジャズを小さな音量で流す ・市内のイベントが知ることができる情報交流 SNS 発信スペース ・一箱シェアブック、個人のおすすめの本レンタル ・飲食は食中毒懸念のため必要なし。食べかすとかのごみ対策で余計な費用がかかる ・古河市が取り組んでいる「SDGs」「男女共同参画社会」「勝手な思い込みハラスメント」等表示 ・選挙開票 ・シャワー室、浴場施設 ・ソフトテニス、バドミントン、卓球等インドアスポーツ ・国際まつり古河在住外国人 ・市のイベントとコラボ外部スペース ・茨城県ご当地ラッパーの「イバラキング」「マシコタツロウ」等呼び茨城を盛り上げる ・マルシェや音楽等常時営業 ・高額なネーミングライツ導入 ・出店ブースに協力会社を募り、職員がロビー活動することで企業の CSR も向上する ・避難所 ・境町高速バス発着所を設ける ・季節のイベントに合わせたマルシェ、野外音楽フェス ・やりたいことを相談できる窓口を ・シェアキッチン、1日カフェができる ・軽食がテイクアウトできる ・さしま（茶）カフェ ・子ども食堂、寄付を募って作ったランチ ・猿島カフェで猿島茶 PR とコーヒーとのコラボで新しい試みをする ・季節ごとに咲く花桃、梅、もみじ、いちようなど植栽する	大ホール 練習室 共用部 その他 屋外	・学年（小中高）を決め、年間1回ほどの音楽、演劇、映画、論議などの鑑賞会 ・音楽コンサート ・コンサート（キャラ） ・上映会 ・映画 ・演劇 ・小ホール固定席 300・400 席 ・鏡のある練習室 ・ガラス張りで見えるスタジオ ・楽器や合唱を練習できるスペース ・音響空間設備が欲しい ・多目的室（防音） ・ダンス、練習、健康 ・音響設備 ・専門のスタッフ（業者委託） ・雪の結晶を写る（作れる）設備 ・防音室 ・部活の練習室 ・ピアノ（何台も）の練習（小さな部屋） ・展示スペース ・展示会 ・市内の各グループに呼びかけ、文化祭的に発表の場を ・写真・絵画・生け花 etc ・アスレチック子供の体力づくり ・古河の歴史教室 ・教室 ・図書館 ・料理教室 ・子どもを連れていつでも遊びに行ける部屋 ・自習室、学生社会人問わず ・図書コーナー ・和室 ・湯浴施設 ・レストランカフェ ・駐輪場 ・自販機コーナー ・キッズスペース ・集客のため、コンビニ、図書館、子供施設 ・防災の準備を ・防災拠点としても考慮する ・避難所になる ・キャンプ ・日替わりのキッチン、カフェ経営 ・創作室 ・学習室 ・市内からのアクセス ・駅からのアクセス ・年配の方、子連れの方がのんびり時間を過ごせる場所を ・図書館、喫茶室、フリースペース ・バス停 ・フリーマーケット、朝市 ・ピアノ庫、GP2 台（ヤマハ・CFIII・スタインウェイ） ・健康器具 ・ピアノ ・茶室、和室 ・調理室 ・ダンススタジオ ・情報コーナー ・運営主体の明確化、事業主体の明確化 ・運営事業の外部委託サブスク的な ・市民を入れる ・8:00 ~ 22:00、週3とか ~ 22:00 ・集客を MAX にする方策 ・コンセプトを大切に会議（市民の入り） ・広い駐車場 ・散歩道、日常に出来る場所（昼夜問わず） ・ドッグラン ・森（林）の中を散策できるような造り ・屋外（芝生）広く子供や高齢者が楽しみ交流できるイベント開催 ・映画（野外・屋内） ・桃の木 ・緑	大ホール 練習室 共用部 その他 屋外
うめチーム		チューリップチーム	
春		春	
・吹奏楽定期演奏会 ・定期演奏会（中・高）	大ホール	・入学・卒業行事（有名な方々を呼ぶ） ・学校行事の会場（入学式・送迎会・卒業式） ・劇団四季を招きたい ・市民参加のオペラコンサート ・「こうもり」「フィガロの結婚」創るコンサート ・読み方練習（幼稚園・保育園・小中の保護者同伴者） ・歌の発表、踊り、演奏、語り部、演劇 ・小中学校での各分野での発表会 ・ミュージカル、のど自慢 ・各講座の展示発表会 ・絵画や作品の展示 ・朗読劇、文化・芸術を活発に ・プロの歌、楽団の貸室として ・模擬店、バザー	大ホール 練習室 共用部
夏		夏	
・吹奏楽の演奏会 ・音楽コンクール等（地区大会・全国大会）会場 ・おみこしや和太鼓が入るお祭り	大ホール その他	・市民参加型歌声で文化をつなぐオペラコンサート ・古河市民管弦楽団・合唱団・ソリスト ・夏休みを前にして各団体が発表 ・〇〇甲子園（大きな大会） ・料理教室（男の料理・子供たちの料理・高校生料理教室） ・子どもたち自由研究（理科・科学） ・ミニ花火大会→外の庭園で親子で涼を楽しむ	大ホール 練習室 その他
秋		秋	
・中高生合唱コンクールの発表の場として ・小学校音楽祭 ・演奏会（プロ・アマ・部活） ・アンサンブル練習 ・リハーサル室 ・ダンス練習（鏡張り） ・親子運動会	大ホール 練習室 その他	・年末の歌声 ・第九＝市民で創るコンサート（合唱団＝206 名／オーケストラ＝160 名／観客＝1060 名） ・小中学校の合唱、吹奏楽発表会 ・クリスマスを含めてお楽しみ会 ・軽トラ市、外部スペース・屋外スペースで	大ホール 練習室 共用部 屋外
冬		冬	
・第九の演奏会 ・ゆきはな音楽祭 ・クリスマスコンサート ・災害時の対応、防災施設として ・古河市在住の海外の方と一緒にクリスマスマーケット ・夢を与える場 ・古河の演奏家を育てたい ・子供たちと一緒に遊べる ・子ども自身が行ける場所 ・プロの演奏会・発表会が県外 ・生もの（子供たちにふれさせたい）	大ホール 練習室 共用部 その他	・学生発表、音楽大勢、プレゼンテーション、私の言いたいことの発表 ・他県や市全体の大会・交流会、演奏会・演劇全国大会 ・大ホール市民団体の演劇や演奏会 ・民謡、民舞 ・障害者団体の模擬店 ・IT、プログラミング、市民スクール ・ジャズバンド練習 ・下町の音楽、チンドン屋、スコープ、三味線 ・音楽が好き、演奏が大好きそんな気持ちを表現できる場所 ・年間を通して地域住民が気軽に集まり、交流の場として利用 ・新公会堂内でいつでもできるコンサート ・市サークルのバンド、合唱 ・ロビー ・フリースペース ・市民アーティスト期間展示（絵・写真・画家） ・動画配信（モニター設置）Youtube・TikTok ・飲食を伴うイベント ・お茶ができる、軽食ができる店（地域の方が出店）	大ホール 練習室 共用部 その他
通年		通年	
・プロの奏者、リサイタル ・オーケストラ演奏会 ・子どもが入れる演奏会、観劇 ・託児ルーム ・バイブオルガンを設置し、生演奏をしてほしい ・ピアノほししい！（スタインウェイ） ・オーケストラピット ・作品展 ・ギャラリー（画廊） ・ランチコンサート（気軽に聴ける） ・マルシェ（フリマ・キッチンカー）etc ・飲食スペース ・楽器を常設しておき、貸し出しも可能に ・映画館 ・図書館 ・駐車場、広いスペース	大ホール 練習室 共用部 その他		

次回予告！

第3回のワークショップのテーマは、「新公会堂で必要な機能を考える」です。第2回ワークショップで出された意見を踏まえ、（仮称）新公会堂にはどのような機能があればいいのか考える回を予定しています！ニュースレター第3号の発行日は令和6年6月頃を予定しています。

図 1.4 第2回市民WS ニュースレター（2/2）

第3回 令和6年4月27日（土） テーマ「新公会堂に必要な機能を考える」

古河市新公会堂を考える 市民ワークショップニュースレター

古河に行こーか

Vol.3

開催概要

日時 4/27(土) 10:00～12:00 参加者 古河市在住の市民 19名
会場 ヤクルトはなももプラザ 会議室

プログラム

- 前回のふりかえり
- ワークショップについて・事例紹介
- グループワーク
- グループ発表（1チーム5分程度）
- 次回予告・なんでもアンケートの記入等

第3回テーマ「新公会堂に必要な機能を考える」

令和6年4月27日（土）、「新公会堂に必要な機能を考える」をテーマとした第3回市民ワークショップを開催し、総勢19名にご参加いただきました。

今回は、前回挙げられた様々な年間イベントを行うためにはどのような場所が必要かを考えました。「大ホール」「練習室」「共用部」でやりたいことを思い浮かべ、その場所で必要な広さや設備について意見を出し合いました。また、室内だけではなく屋外スペースや施設のコンセプトに関する意見など、活発に議論が行われていました。



メジロチーム

- 大ホール** イベントのある日だけの建物にならないようにする
吹奏楽の発表、コンクールの大会会場となる2,000席以上
- 練習室** 若い人に足を運んでもらえるように、練習室は多くほしい
- 共用部** 防災、災害時に容易に転用できる多目的スペース
防災拠点としても含めて1000台以上の駐車場
- その他** 地域住民が生産している品物等が販売できる広場



ウグイスチーム

- 大ホール** 1,500席くらいのコンサート会場
オーケストラ、吹奏楽コンサートのための「反射板」「音響設備」
- 練習室** パーテーションで分けられるようにする
防音室設置（ピアノ付や反射鏡付）
- 共用部** シェアオフィスのような図書館、仕事スペース（自習室含む）
- その他** 立体駐車場 600台以上
SNS動画などを発信でき、避難・災害時に必要なWifi環境



カワセミチーム

- 大ホール** 舞台裏手から入れる複数の楽屋
- 練習室** 練習室の数を多くして、市民サークルを拡大する（団体・個人）
- 共用部** ・広いスペースを作って市民交流スペースに（交流拠点）
・トイレ。女性の利用が多いので、女性と男性で比率を2:1にする
- その他** ・野外フェスの屋台、キッチンカー、芝生



ヒバリチーム

- 大ホール** 座席に車椅子スペース5席以上。スロープあり
- 練習室** クラシック・合唱の練習ができるアップライトピアノ
ピアノ発表会やコンクールができる200席程度の小ホール
- 共用部** カウンター席や個別スペースで勉強や読書ができる
- その他** 遊具（子どもが遊ぶため）



裏面ではグループワークで出たご意見を紹介しています！

図 1.5 第3回市民WS ニュースレター（1/2）

ご意見のまとめ 各チームがそれぞれ工夫してまとめた模造紙の表現にできる限り近づけて意見及び見出し、強調表現を掲載しています。

新公会堂に必要な機能を考えてみよう			
メジロ	大ホール	練習室	その他
	防災・災害時にイスなどを容易に整理し、スペースを作れる 成人式。存在を認知 外部からの本格的な大きなコンサート（NHK のど自慢） 高度な音響装置 2000 席くらい イベントのある日だけの建物にならないように 1000 席以上の固定席 吹奏楽の発表、コンクール大会会場となる 2000 席以上 さいたまスーパーアリーナの規模を参考に 1500 席以上	若い人に足を運んでもらえるように、練習室は多くほしい 防音室 飲食ができる（座席で OK） 200 席～ 250 席（ロールバックチェア） 300 席以上の小ホール	様々な防災備蓄収納スペース ・ PF1、PPP の業者へのヒヤリングを行い、運用上の意見を取り込み、施設設計に活かす ・ 建物のインフラ途絶をなくす設備設計 ・ 商業施設との連携で公会堂の稼働率を MAX に ・ 商業施設との連携をよく考える（ヨークベニマル以外に何かあるか） ・ 地域住民が生産している品物等が販売できる広場 ・ 市民が気軽に利用できるレストラン ・ 講座で学んだ作品を展示する広場
ウグイス	共用部	練習室	その他
	フレキシブルスペース、多用途スペース 防災・災害時に容易に転用できる多目的スペース 子育ての仲間が安心して集うスペース 高齢者も使える会話が出来る場所 キッズルーム 多目的スペース、会議室をベースに部屋割を考える 展示スペース 気軽に使用できるシャワー室、銭湯	屋外コンサートができる芝生階段 若い人をとりこむ機能 防災拠点としても含めて 1000 台以上の駐車場 グリーン広場 せせらぎと小魚が泳ぐ水辺 季節折々の花が咲く庭園 公園的な集える場 オーケストラ、吹奏楽の発表の場 古河出身の文化人紹介コーナー（常設展示室）	楽器置き場（常時） コンクールの会場 2000 人以上収容の野外コンサート会場 図書室、飲食コーナーなど全市民が入り出できる場所 鑑賞教材を生で体験できる環境（バイオリン） 災害、非常時に大人数が集える、食糧保管、情報共有の場
カワセミ	大ホール	練習室	その他
	オーケストラ、吹奏楽コンサートのための「反射板」「音響設備」 演奏のための「移動・撤去可能なイス」「音響設備」「スポットライト」 ミュージカル・演劇のための「音響、照明」「設備全般」「ロールバック固定」 テレビ収録のための「大ホール（1200 ～ 1500 席）」 オーケストラ BOX（平常時は平面収納で 1700 客席） 壁に反射板（良いデザインで取り付ける） 1500 席くらいのコンサート会場 ワークショップやプラネタリウム等を行える異源設備 映画鑑賞ができる大スクリーンと良い音響 パブリックビューイング用にスクリーン席 成人式が行えるように 1500 席	防音室設置（ピアノ付や反射鏡付） 各種講座を行う小ホール 日本舞踊、ピアノ発表を行う音響・照明付きの小ホール（400 席くらい） 市内学生バンドが発表できる小ホール・音響ステージ 小学校合唱発表ができる中ホール・ステージ 写真、絵画文化祭が行える展示室 平土間でテーブルを置けるようにして、講演会・表彰式のあとにパーティやディナーショーが行えるように パーティションで分けられるようにする 成人式後のパーティ会場（300 席以上）	音楽が好き！演奏が好き！そんな気持ちを表現できる場所 新公会堂内で、いつでもできるロビーフリーコンサート マルシェ（フリマ・キッチンカー）が出せる野外内エントランス広場 芝生・遊具 tiktok やインスタなど SNS 動画を発信できる Wi-Fi 完備 避難、災害時に必要な Wi-Fi 環境 ペットが避難できる場所 防災公園（公園とホールを隣接） 自家発電で CO2 削減
ヒバリ	共用部	練習室	その他
	・ Wi-Fi 完備のカフェ ・ カフェスペースにシェアキッチン（1 カ月ずつくらいで古河市内の店舗が出店） ・ ロビー・共用部に飲食ができるスペース ・ 自由に表現できるフリースペース	シェアオフィスのような図書室、仕事スペース（自習室含む） 防音・個室完備の学習室・サテライトオフィス 壁面や棚を利用した展示スペース（市の紹介や物販） エントランスホールを利用した色々なイベント	交流スペースやブレイルームなど、雨でも子どもが遊べるスペース 600 台以上の立体駐車場 シャトルバス 古河駅からぐるり号（市内からも行きやすく）
ヒバリ	大ホール	練習室	その他
	吸音機能のあるカーテン（座席数を少なくできる） 反響板 舞台裏手から入れる複数の楽屋 講演会（他県から呼び込む） 大ホールの座席をシュボックスにして、音響や視覚の効果が良くなるように バリアフリー化で段差をなくす クラシックコンサートの音響（1000 人規模、1000 ～ 1500 席のライブコンサートの音響・照明） 大ホールは 1 階席：800 席、2 階席：400 席で 1 階はカーテンで仕切って 600 ～ 500 席に変更可	中ホールは、移動式・収納型にする。 床の広さを調節できるように（300 ～ 500 席） 1200 席で、全国大会、県大会を誘致できるように 準備や撤収の時間労力を省くため、固定席の大ホール パイプオルガン オーケストラピット スクリーン映画 歌舞伎のセリ・花道・回り舞台 天井を吊下して、プラネタリウムを効果的に投影できるように 大ホールの床はスロープにする	床張り フリースペース 造音 ダンス・舞踊で使用できる大きい鏡 練習室の数を多くして、市民サークルを拡大する（団体・個人） 二重の壁にすることで外に音が漏れない音楽室（リハ室の広さ） 造音性の高い部屋（クラシックやバンドの練習室） 300 ～ 500 席程度の小ホール（音響・照明）
ヒバリ	共用部	練習室	その他
	共同ロビー テニール 飲食可能 フリー Wi-Fi ホワイエ	トイレ。女性の利用が多いので、女性と男性で比率を 2：1 にする。 共用トイレ 大ホールを使用していない時のための展示施設（絵画・書道） 大人も集まるのでお遊戯会	野外コンサート施設 ・ 野外フェスの舞台、キッチンカー・芝生 ・ 芝生、ベンチ、水飲み場（噴水）テント設置可能 ・ 子供向け遊具 ・ 施設外は古河の歴史を全開にする ・ 建物への外からの入口に距離を持たせワクワク感を演出する ・ 施設外を非日常空間にする ・ 建物や敷地に不利用の空間を残す。後世の人の利用を残したい。現在の状態を完全にしない ・ 後所機能の部屋（随時、人がくる） ・ 楽器や用具の搬入が楽になるように収納がほしい ・ 市の情報を発信できるスペースの確保（鉄製の壁にしてマグネットが貼るなど）
ヒバリ	大ホール	練習室	その他
	定期演奏会（吹奏楽・オーケストラ）ができる客席 1200 席 吹奏楽コンクール客席 1000 席以上、反響板（音響反射板） オーケストラ演奏会ができる客席 1200 ～ 1500 席 施設規模 1250 席 小ホール 200 席 固定席 1300 席 ステージの広さは「結城市民文化センターアクロス」程度、以上 成人式ができる 1000 席 座席に車椅子スペース 5 席以上。スロープあり 適切な規模のコンサートホール	第九ができる広さの舞台（オーケストラ・合唱、ソリスト（声楽）） 吹奏楽コンクール、その他コンクールができる広さ（ピアノ・ソロ） パレエが生演奏できる広さ（オペピット） 市小中学校音楽会合唱コンクール（結城市のよう） グランドピアノ試弾会（有料） 演奏者が使いやすいように、舞台袖に十分な広さを 搬入口からホールまでの動線に段差を作らない ステージ裏に大道具搬入口（広く） 小ホールのステージは低めでよいが、床下に空間がないようにする	音響、照明の専門スタッフを常駐 音響、照明設備、音響反射板 オーケストラピット ホール内に木材を使って響きを良くしたい 聴きやすい、演奏しやすい、ほどよく響くホール 固定座席の大ホール ピアノ庫（温度・湿度管理） 楽器収納庫 気軽にホールを利用するために設置 置楽器（ティンパニ、マリリンバ、大太鼓、ビブラフォン等） 親子ルーム
ヒバリ	練習室	共用部	その他
	ピアノ発表会やコンクールができる 200 席程度の小ホール クラシック・合唱の練習、伴奏合わせができるアップライトピアノ	広く明るいロビー ・ ロビーコンサートが行える、ある程度広いロビー ・ コワーキングスペース・カウンター席や個別スペースで勉強や読書ができる ・ コンセント ・ 飲食スペース ・ 共用部にテニール、いす	「古河〇× 会館」のような名称ではなく、「〇〇ホール」のように愛される名称 屋外芝生、植栽 屋外イベントが行える芝生広場 展示室 小図書館・カフェ 防災品備蓄（食料・水・毛布等） 託児室・遊具（子どもが遊ぶ） 駅からのアクセス 広い駐車場・駅からバス 講演台、演奏者用のイス グランドピアノ アップライトピアノ トイレ（女 7、男 3） 音楽の輪を広げよう、音楽で魅力ある街づくり 街角コンサートのようなネーミング

次回予告！

第 4 回のワークショップのテーマは、「新公会堂の使い方を考える」です。これまで出された意見を踏まえ、(仮称) 新公会堂の管理・運営（ソフト面）について考えます！

図 1.6 第 3 回市民 WS ニュースレター（2/2）

第4回 令和6年6月1日（土） テーマ「新公会堂の使い方を考える」

古河市新公会堂を考える 市民ワークショップニュースレター

古河に行こーか

Vol.4

開催概要

日時 6/1(土) 10:00～12:00 参加者 古河市在住の市民 18名
会場 ヤクルトはなももプラザ 会議室

プログラム

- 前回のふりかえり
- 市民委員会での検討状況の説明「施設の目指す姿」「古河市文化芸術振興基本計画」「ゾーニング」
- ワークショップについて・事例紹介
- グループワーク
- グループ発表（1チーム5分程度）
- 次回予告・なんでもアンケートの記入等

第4回テーマ「新公会堂の使い方を考える」

令和6年6月1日(土)、「新公会堂の使い方を考える」をテーマとした第4回市民ワークショップを開催し、総勢18名にご参加いただきました。

今回は、これまでに考えた「やりたいこと」や「機能」、施設のコンセプトを踏まえ、施設の管理運営について、①施設で行うべき・重点を置きたい「事業」、②施設の基本となる「利用規則（ルール）」、③施設を広くアピールする「広報・宣伝」の3つのテーマで考えました。



てるてる坊主チーム

- 事業計画**
 - ・ホリプロに協力頂いての施設管理
 - ・パブリックビューイング、スポーツとの合体
- 利用規則**
 - ・市民・市内在勤者は減免
 - ・経費のムダにならない利用の仕方
- 広報宣伝**
 - ・電車の吊り広告を活用
 - ・地方版新聞に催しを掲載
- その他**
 - ・トイレは階段なしでバリアフリー対応



あじさいチーム

- 事業計画**
 - ・他施設（商業等）とのコラボで「利用率」をアップ
- 利用規則**
 - ・電子マネーを使用できるようにする
- 広報宣伝**
 - ・古河をアピールするためにもネーミングを幅広く一般応募
- その他**
 - ・多種類の交流の場として、国籍・近隣・地域の人々が研修できる



かえるチーム

- 事業計画**
 - ・スポーツ、市民参加型の芸術、音楽の合体
- 利用規則**
 - ・利用料金の細分化
 - ・利用料金は高校生までは免除！
- 広報宣伝**
 - ・古河駅にデジタルサイネージを！
 - ・公会堂独自のSNS（インスタなど）
- その他**
 - ・運営は古河市を知っている民間事業者



雨傘チーム

- 事業計画**
 - ・近隣の芸術団体への披露の場
 - ・市民オケ、演劇等の市民参加
- 利用規則**
 - ・「朝活」タイムを作る
 - ・市内外を区別しない料金体系
- 広報宣伝**
 - ・「空き」情報はリアルタイムで知る
 - ・PRムービー作成
- その他**
 - ・地域の文化を育成する



裏面ではグループワークで出たご意見を紹介しています！

図 1.7 第4回市民WS ニュースレター（1/2）

ご意見のまとめ 各チームがそれぞれ工夫してまとめた模造紙の表現にできる限り近づけて意見及び見出し、強調表現を掲載しています。

新公会堂の使い方を考える				
※かえるチームの事業計画の分類例： [A] 監賞 [B] 普及・参加 [C] 育成 [D] 交流・連携				
てるてる坊主	事業計画	利用規則	広報宣伝	その他
	・創作催しなどにホリプロと連携してみる ・指定管理者はアイデア・企画に優れた人+行政 ・ホリプロさんに協力願っての施設管理 ・自主、貸館の共用 ・ホリプロさんの技術（裏方）さんに常駐していただき、施設の管理やメンテナンスを行っていただく ・鑑賞、育成、交流の3つの軸で検討 ・おはよし（地域伝統）、神楽（地域伝統） ・小中学生の発表会（演劇・ダンス・バンド・合唱etc） ・第九の市民参加 ・古河市国際交流フェスティバル ・スポーツ、市民参加型の芸術・音楽の合体 ・パブリックビューイング、スポーツとの合体 ・高校サッカー・少年サッカー・相撲・水泳・陸上、古河出身の方の応援 ・クラシックコンサート、ミュージカル（プロの方） ・プロの方による舞台鑑賞 ・高いレベルの舞台・幼児からの鑑賞 ・文化芸術音楽のプロを呼び、指導を受けながら市民参加型のオペラ公演を目指す	・経費のムダにならない利用の仕方を考える ・開館時間 <900～2100> 夜の人の移動が少なくなるから ・定期休館日は設ける（平日で） ・放課後、夜間（若い人・学生） ・1時間からの施設貸出 ・イベントの無い日にも利用できるカフェ、屋外広場、人の流れ ・市民・市内在勤者は減免（市外科金との差を作る） ・減免による利用料金 ・インターネット予約と窓口予約の併用（2カ月先まで） ・2年～3年での予約が必要 ・施設所窓口機能 ・福祉施設の方による販売等はOKに！営利との差別化	・HP、古河駅掲示 ・スーパーマーケット、各公共施設 ・電車の広告を活用（欄上部分とか） ・例えばアンテナショップでの古河市のPR ・SNSの活用（例：古河市出身の有名人にちゃんとフォローになってもらう） ・ケーブルテレビ ・新聞（読売・朝日・毎日）地方版に催しを載せてもらう ・記者クラブにアクションする ・古河市の企業にスポンサーになってもらいPRする	・トイレは階段なしで設置 ・バリアフリー対応（地下はNG） ・LGBTQ トイレ ・エントランスに壁画を描いてもらう（例：浅野さんとか）
	事業計画	利用規則	広報宣伝	その他
	・管理運営主体の明確な選定 ・運営するコンセプトを明確化 ・運営コンセプトのマト「利用率アップ」「他施設（商業等）」とのコラボ ・商業イベントの開催なども可能としたい（ある程度の収益性も考慮したい） ・ハードの適切・確実な管理 ・サステナブルな省エネの運営 ・自主事業が良い理由：内容が豊富になる、利用回数が多くなる、責任の所在 ・「事業」「利用規則」「広報宣伝」をまとめあげるにはローケーションがキー ・PFI、PPP を早期に検討すべき ・「事業」「利用規則」「広報宣伝」のために商業と密接なコラボが可能容易なローケーションのマト ・「未来法開発事業」として民間によるホール施設と商業施設等の複合整備でホール部は借りる ・建設候補地の古河市体育館解体後は、武道館や県立図書館とする ・「たばこ公社」「NTTデータ」跡地開発にも民間活力を導入、警察移転も含める ・消防、電気等点検費用民間会社にて負担。管理は古河市	・個人情報扱を扱う貸出、ホール借り等は古河市担当 ・電子マネー（Suica等）使用できるようにする ・古河市にて扱う貸出など、マイナカード利用にてポイントが付与することはできないか ・利用規則は運営・コンセプトに基づく。運営・コンセプト（目標）を最大化する利用規則とするべき ・館長は著名人に ・休館あり	・広報宣伝は運営・コンセプトに基づく。運営・コンセプト（目標）を最大化する広報・宣伝とするべき ・駅、道の駅、商店街、大通り等にフラッグ設置 ・市からの例（提案）通りでいい ・インスタ、X、YouTube を見てきた人に「合言葉」を出すことでまじゅうをプレゼント ・古河をアピールするためにもネーミングを幅広く一般公募 ・古河のホールにしかないものを大きくアピールする（例：水戸＝小澤征爾、岩井＝アッシュケナージ（ピアノ）） ・災害時対策をアピール（全市民にとって一番公平なもの） ・ネーミングライツ活用 ・ネーミングライツのこれまでの当たり前をもっと前にして、できる限り民間に出させて企業イメージアップ ・ネーミングライツ利用。企業による出資。管理は古河市 ・キャパは1300席でOK。茨城県古河市出身の芸人、アーティスト招へい。常に何かしていること	・「新公会堂」というネーミングは再考する必要あり ・幼少→中高→一般等、育成を目標としての場 ・多様な交流の場としての場 ・国難・近隣・地域の人々が研修できる ・文化的他にも多様性（室内スポーツ） ・京都でのインバウンド滞留のように建物作ると、駐車場をセットに考える必要あり
あじさい	事業計画	利用規則	広報宣伝	その他
	・優先は①B：普及・参加事業②A：鑑賞事業③C：育成事業 ・[B] 市民と一緒に企画運営 ・[C] 部活動（吹奏楽、演劇） ・[D] 伝統文化を子どもが体験し、学び発表！ ・[A] 姉妹都市との交流 ・[D] 国際交流 ・[A] クラシック、映画、吹奏楽、演劇、伝統芸能 ・[A]①ロックライブ・フェス②映画③子ども向け演劇④大衆演劇の4部作 ・[A] 映画館がないので上映会をしてほしい ・[D] JAZZ フェス ・[D] 市民芸術祭 ・[B] 第九合唱 ・[B] 芸能体験 ・[B] 演劇体験 ・[B] イベントへ参加 ・市民団体の発表をメインにしつつ、大ホールにて興行も積極的に行う	・基本9時～22時（24hも可）ただし、利用規則の中で「申請し市長の承認が得られればこの限りではない」を入れ、裁量を持たせる ・開館日/休館：休み週1～2年末年始 ・365日開館 ・9時～22時 ・時間単位で貸出 ・開館時間9時～22時 ・貸出区分：午前・午後・夜間 ・時間：9時～22時※事業内容によって延長もあり ・利用料金の細分化 ・利用料は1時間ごとに分ける。利用料は取る ・利用料金は高校生までは免除！ ・インターネット予約	・市HP ・市SNS ・市広報「古河」 ・市独自情報誌 ・施設の情報誌（地域の活動や情報を発信） ・古河市公式とは別のインスタページ ※混ざるとわかりにくい ・（仮称）公会堂独自のライン、インスタ、Xを開発する ・ホールを知ってもらうために利用者を集めたイベント企画 ・古河駅に宣伝版（デジタルサイネージ）を！ ・古河出身のインフルエンサーの活用	・運営は業者、管理は市 ・PFI等の官民連携により、施設の管理運営は民間事業者者に委託する ・市職員など異動も多く、専門的な知識を身に付けるのは難しい→民間活力！ ・古河のことを知り、古河への想いのある事業者さんを！
	事業計画※	利用規則	広報宣伝	その他
	・優先は①B：普及・参加事業②A：鑑賞事業③C：育成事業 ・[B] 市民と一緒に企画運営 ・[C] 部活動（吹奏楽、演劇） ・[D] 伝統文化を子どもが体験し、学び発表！ ・[A] 姉妹都市との交流 ・[D] 国際交流 ・[A] クラシック、映画、吹奏楽、演劇、伝統芸能 ・[A]①ロックライブ・フェス②映画③子ども向け演劇④大衆演劇の4部作 ・[A] 映画館がないので上映会をしてほしい ・[D] JAZZ フェス ・[D] 市民芸術祭 ・[B] 第九合唱 ・[B] 芸能体験 ・[B] 演劇体験 ・[B] イベントへ参加 ・市民団体の発表をメインにしつつ、大ホールにて興行も積極的に行う	・基本9時～22時（24hも可）ただし、利用規則の中で「申請し市長の承認が得られればこの限りではない」を入れ、裁量を持たせる ・開館日/休館：休み週1～2年末年始 ・365日開館 ・9時～22時 ・時間単位で貸出 ・開館時間9時～22時 ・貸出区分：午前・午後・夜間 ・時間：9時～22時※事業内容によって延長もあり ・利用料金の細分化 ・利用料は1時間ごとに分ける。利用料は取る ・利用料金は高校生までは免除！ ・インターネット予約	・市HP ・市SNS ・市広報「古河」 ・市独自情報誌 ・施設の情報誌（地域の活動や情報を発信） ・古河市公式とは別のインスタページ ※混ざるとわかりにくい ・（仮称）公会堂独自のライン、インスタ、Xを開発する ・ホールを知ってもらうために利用者を集めたイベント企画 ・古河駅に宣伝版（デジタルサイネージ）を！ ・古河出身のインフルエンサーの活用	・運営は業者、管理は市 ・PFI等の官民連携により、施設の管理運営は民間事業者者に委託する ・市職員など異動も多く、専門的な知識を身に付けるのは難しい→民間活力！ ・古河のことを知り、古河への想いのある事業者さんを！
かえる	事業計画	利用規則	広報宣伝	その他
	・プロのオーケストラ等、演奏会 ・ミュージカル ・オペラ ・ダンス ・伝統芸能 ・落語、お笑い ・プロ歌手 ・バンド等コンサート ・のど自慢 ・おかあさんといっしょ ・利益を優先するのではなく、主催する人たちの考えをよく聞いて幅広く活動できる場にしてほしい ・自主事業と貸館併用 ・古河の歴史を学ぶ、知る、気づく ・市民才女、吹奏楽等演奏会 ・市民演劇等発表 ・近隣の芸術団体への披露の場とする ・本物を鑑賞する（演劇は劇団四季、オケは日本フィルとか） ・企画事業を定期的に行う ・人間国宝、能楽師に古河出身のプロがいる	・学生は無料 ・市内外を区別しない料金体系 ・クラシックの公演は割引する ・朝は出勤前、夜は学校帰り ・利用時間：5時～など「朝活」タイムを作る ・開館は年中無休を原則（メンテナンス以外） ・365日休みなしの方がよい ・調理実習などの使用時間は9時～12時でない方がよい※時間貸しOK ・物品販売をゆるやかに認める ・共用部に一般業者出店可能に（料金は設定する）（利用料金）リピーター割引（3回目から割引、5回目半額etc） ・どうすればできるか＝ルール変更可！ ・利用ルールはあるが、どうしたらできるかを考えながら運営する ・3人ほどで自主管理（特典？） ・自主管理（現状回復）→利用者に責任	・「空き」情報はリアルタイムで知れる ・QRコードとの連動（バス・電車・タクシーなど） ・PRムービー作成（1分程度のショートver、3分程度のロングver）	・役所や教員、特に校長等の天下にしない。特に館長！ ・地方のホールは地域の文化を育成することが主体 ・運営委員会を民間に委ねる ・照明、音響等の専属スタッフ ・インターネット予約 ・クレジットカード支払い可
	事業計画	利用規則	広報宣伝	その他
	・プロのオーケストラ等、演奏会 ・ミュージカル ・オペラ ・ダンス ・伝統芸能 ・落語、お笑い ・プロ歌手 ・バンド等コンサート ・のど自慢 ・おかあさんといっしょ ・利益を優先するのではなく、主催する人たちの考えをよく聞いて幅広く活動できる場にしてほしい ・自主事業と貸館併用 ・古河の歴史を学ぶ、知る、気づく ・市民才女、吹奏楽等演奏会 ・市民演劇等発表 ・近隣の芸術団体への披露の場とする ・本物を鑑賞する（演劇は劇団四季、オケは日本フィルとか） ・企画事業を定期的に行う ・人間国宝、能楽師に古河出身のプロがいる	・学生は無料 ・市内外を区別しない料金体系 ・クラシックの公演は割引する ・朝は出勤前、夜は学校帰り ・利用時間：5時～など「朝活」タイムを作る ・開館は年中無休を原則（メンテナンス以外） ・365日休みなしの方がよい ・調理実習などの使用時間は9時～12時でない方がよい※時間貸しOK ・物品販売をゆるやかに認める ・共用部に一般業者出店可能に（料金は設定する）（利用料金）リピーター割引（3回目から割引、5回目半額etc） ・どうすればできるか＝ルール変更可！ ・利用ルールはあるが、どうしたらできるかを考えながら運営する ・3人ほどで自主管理（特典？） ・自主管理（現状回復）→利用者に責任	・「空き」情報はリアルタイムで知れる ・QRコードとの連動（バス・電車・タクシーなど） ・PRムービー作成（1分程度のショートver、3分程度のロングver）	・役所や教員、特に校長等の天下にしない。特に館長！ ・地方のホールは地域の文化を育成することが主体 ・運営委員会を民間に委ねる ・照明、音響等の専属スタッフ ・インターネット予約 ・クレジットカード支払い可

次回予告！

第5回のワークショップのテーマは、「市民参画について考える」です。これまで出された意見を踏まえ、（仮称）新公会堂ができるまで、開館後の市民参画について考えます！

図 1.8 第4回市民WS ニュースレター（2/2）

第5回 令和6年7月6日(土) テーマ「市民参画について考える」

古河市新公会堂を考える 市民ワークショップニュースレター

古河に行こーか

Vol.5

開催概要

日時 7/6(土) 10:00～12:00 参加者 古河市在住の市民 21名
会場 ヤクルトはなももプラザ 会議室

プログラム

- 前回のふりかえり
- ワークショップについて・事例紹介
- グループワーク
- グループ発表(1チーム5分程度)
- まとめ・なんでもアンケートの記入等

第5回テーマ「市民参画について考える」

令和6年7月6日(土)、「市民参画について考える」をテーマとした第5回市民ワークショップを開催し、総勢21名にご参加いただきました。

今回は、開館まで・開館してからの「市民参画」として、①参加していただいている皆さんの熱意を新公会堂の開館までつなぎ、より多くの人に広めていくために、今後どんなふうに関わったらよいか、②施設の開館後、施設での活動にどんなふうに参加したいか、について考えました。

花火チーム

開館まで

- ・市民参加型のイベントを催して新公会堂の必要性に賛同を得る
- ・工事中や開館準備中を現場見学
- ・愛称は募集&市民投票で決める

開館してから

- ・市民参加+プロの演出家の公演
- ・古河を拠点とする音楽財団をつくる
- ・NPO法人を設立。サポートスタッフとして参加



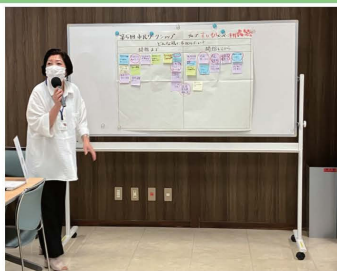
すいかチーム

開館まで

- ・行政だけでなく、最後まで市民が参画できるように
- ・観る側と演者など多方面から意見を取り入れてほしい

開館してから

- ・こどもたちに社会科見学や職場体験
- ・自衛隊、警察官など近隣施設の団体もまきこむ
- ・こけら落としコンサートは市民で



風鈴チーム

開館まで

- ・仮囲いアートなどのイベントや植樹体験(ハナモモ)など、体験参加型を主とする
- ・SNSやYouTubeを活用して配信

開館してから

- ・古河出身の活躍している方による開館イベントや結婚式などで話題作り
- ・利用率をいかに上げるか考え、よりよい古河市へ



うちわチーム

開館まで

- ・完成までの動画をアーカイブ配信して、市民の意識をアップ
- ・古河市の事業者をサポートを依頼してロビー活動をする
- ・古河駅で開館までのカウントダウン表示

開館してから

- ・市民当番制にして改善点を出し合う
- ・「行政」「市民」「管理者」の円卓会議で話し合い



裏面ではグループワークで出たご意見を紹介しています！

図 1.9 第5回市民WS ニュースレター (1/2)

ご意見のまとめ 各チームがそれぞれ工夫してまとめた模造紙の表現にできる限り近づけて意見及び見出し、強調表現を掲載しています。

どんな風に参加したい？		
花火	開館まで	開館してから
	- 多くの市民参加型のイベントを催して、新公会堂の必要性に賛同を得て古河市をより元気にする！ - 新施設の案内をしてほしい（ワークショップ参加者対象） - 工事中や開館準備中に現場見学（機運を高める）・工事経過の報告 - 進捗状況を随時伝えていく。SNSや掲示板で。（▲チラシ（コストが増）） - 現場見学会・子どもたちに仮面いに絵などを描いてもらう - 開館記念イベントを早めに企画し、市民に知らせる - 公共施設や市内スーパーに施設模型を設置 - 市民に広報活動（ポスター、市報にA4サイズでお知らせ） - 今ある小さな文化施設を使って、新施設での発表できるものに育てたい - 愛称は募集＆市民投票で決める・愛称の募集 「日本一」「関東一」何かに特化したホール - 管理運営WS・実行委員会設置・イベント企画、運営 - 設備、その他でオンラインワンの施設にする	- 市民参加型の3tuku「創る」「作り」「造る」 - 新公会堂へ行こう！①参加する②笑って参加する③健康！ - 市民参加、運営でオペラの公演「フィガロの結婚」「とももり」「魔笛」等→ - プロの演出家×1名、プロのソリスト5名、市民合唱団120名、合同オーケストラ（古河市民管弦楽団+古河吹奏楽団+シティウインドオーケストラ）110名 - 古河を拠点とするオーケストラや劇団等を作る 「発表の場」（内容日時、施設）（演奏、演劇）などを設定して、その練習や準備に一緒に関わりたい・音楽イベントへ参加 - 学生の吹奏楽、バンドの発表会（市内優先、市外もOK）・学生主体のイベント - 特に用事がなくでもつづけるスペースでのんびりしたい（暑い日など） - 野外にもスペースあるならマルシェなどもできると思う - 古河市のアピールができる道の駅的な利用ができるスペースの併設 - サポートスタッフとして参加。NPO法人設立 - 市長による運営委員会の設立・機関誌の発行
すいか	開館まで	開館してから
	- 市民オケ、吹奏楽 etc...などの意見を取り入れてほしい - 行政だけでなく - 文化団体等、各種団体に入ってもら - 基本設計について、多方面から意見を取り入れてほしい - 開館までに市民との話し合いの場を増やしてほしい(1回ではなく最後まで) - 愛称を募集（ネーミング） - 最後まで市民の参画 - 新しいホールのアピール（近隣の都県）、新聞、SNS - 市民へのアピール（チラシ、ポスター、SNS） - 広報活動 SNS、紙も必要・広報誌 PR・SNS での PR - 現場見学会（建設中・建設後）	- 職場体験をしてもらう - 学生の社会科見学 - 子どもたちに指揮者体験コンサート - 地域の祭り、イベント - マルシェ、フリマ、マーケット - 市民音楽祭 - プロの演奏家等による市民への指導 - 自衛隊、警察等の団体、オーケストラとの連携 - 市民オケ、吹奏楽によるこけら落としコンサート - イベントのある日だけでなく、日常的に集える - 施設ごとのボランティアの方の充実
風鈴	開館まで	開館してから
	- 建設の様子をライブ配信、動画作成・現場見学会（子ども向け） - 市のLINEで宣伝活動・週1回の進捗状況報告(SNS) - 現場見学会を定期的に開催（着工→施工→開館）・多言語表記 - 樹齢体験（ハナモモ）など - 新ゆるキャラ募集・施設の愛称募集、ロゴマーク - 仮面いに子どもたちが作ったプロジェクトを上映 - 仮面アート（市民参画）各アート・仮面アートなど子ども向けイベント - 仮面アート（市民もだがテレビを使ってPR「プレバト」） 「くるりん号」へのラッピング - 市のイベントへのPR、ブース出展「展示」・「公民館、スーパー etc.」ポスター掲示 - イベント（お祭り、キッチンカー、ダンスイベント） - 物産展などへのPRする場を設けて市民参加で 「こくらす」でのムービー撮影を市民参加で - 公会堂とは？を考えるワークショップを学校に行って開催する - 委託会社の選定 - 運営方針のワークショップ（よりよい運用が行えるように） - 理解を得てもらうための設計のワークショップ - 基本設計、基本管理方針の検討が最大のポイント→基本設計のたたき台ができた時点で検討会に参加→PGスケジュールの最初の段階から参加→第1回～第4回までの様々な重要な意見がどう反映されたかチェック→最低どんなことは死守したいかをここで表明する→この時点で「思入れ」を盛り込まなければあとは流されるだけ→それがなければワークショップに参加した意味がない！	- 各種イベント時の運営参加・子どもボランティア - 利用している風景や様子を発信・古河出身の活躍している方の紹介イベント - 引き続きのPR（市民の自慢・誇りに思えるように） - 報奨制度（例：7割減） - 生涯学習センターを設ける - 外でイベントを行う（カフェ機能・ランチ・シェアキッチンなど） - 個人や小さい団体でも利用できるレンタルスペース利用 - 子ども食堂 - 音楽を行っている人全体でライブイベント（プロ・アマ問わず） - 子ども緑日の開催・キッチンカー祭※月1回の開催 - おじいちゃん、おばあちゃん→子どもたちへ遊びを伝える - 利用する団体の交流イベント・結婚式などの話題づくり - 市所管団体：国際交流協会イベント・個人の団体：イベント - 講演会・音楽・演劇 - 室内という天気左右されないうち子ども向けイベント（見る、触る、体験） - 伝承遊び・年1回著名人による講演会 - サポートスタッフの育成→若者や技術育成 - 色々な目線の公会堂ツアームービー（子ども、ママ、団体） - ワークショップに携わった方が主催するイベント、想いを伝える - 管理者と利用者の利害調整を行う「コーディネーター」を指名する→コーディネーターは市が指名し、相応の権限的なものを付与してほしい→「管理者」「古河市」「コーディネーター」他のフィードバック会議体を設ける→コーディネーターは第三者的な位置付けで、公会堂の最適運営に努めることとする
うちわ	開館まで	開館してから
	- 解体も含めてすべて民間に任せる。行政は借りる 「チーム古河」でいかに持続可能な施設にするか皆で取り組む→ダイバーシティ実践、可視化・子どもたちが植樹する・館内のテーマ音楽を市民から募集 - 施設の設計者による解説（中高生向け等） - 他県の市町の施設で鑑賞に参加したとき、古河市のホールにつながるものがあれば要望を市に伝える - キャラクターやロゴマークについて、積極的に考案を募りたい - いかに市民のモチベーションを上げて「心理的安全」を醸し出せるか、経験と知識を提供する - 開館までのありったけの知識をアウトプットし、他県施設との差別化を図る - いまさら古河市文化施設の方向性がない。ネーミング募集「公会堂」ではおかしい・外から眺める施設を想像して興味、関心を持つ - 古河市を盛り上げたい気持ちがある方々へのクラファン実施→一定金額以上の方に古河特産品プレゼント - 古河市事業所からの資金サポート→CSRでの職員とのロビー活動 - 開館までのカウントダウン表示を古河駅西口・東口に設置 - 開館前に市民会館見学に行きたい・他の町のホールの施設（舞台、客席、その他）の見学・FD（フューチャーデザイン）導入について - 外にカマドを作るワークショップ（災害にも役立つ）かまど→市民の手で手入れしていく・ホリプロとの連携を最大限利用し、毎日の音楽イベント等、普及ロビー・営業活動を職員と行う - 工事中の建物の見学・進捗状況を常にUP。誰でも見られる - 現場完成までの見学会を動画アーカイブ配信して、市民の意識アップ - 市民ワークショップが終わったことでの、その後の実行委員会等の状況をアーカイブ配信する→モチベーション持続 - 新公会堂建設に対して、常に関心を持ち、友だちと工事現場などの話題に参加する - 工事中からショート動画を撮りためる（後で1本の動画に）	- 花の手入れ - 曜日ごとに館内に流す音楽を変える（市民クラシック） - 若者の起業の一助のため、週替わりの出店をサポートするマルシェ - 行政「市民」「管理者」の円卓会議で話し合い - 企画や運営、イベント等に参加し一助になりたい - 周年系実施。古河のシンボルとして知名度アップにつなげる - 音楽の舞を奉納（古河に能のプロがいる） - 企画運営が活性化するための運動に積極的に参加する（特に教育現場が表現できる活動） - 施設収支報告を1クォーター（3か月）ごとに出してもらい確認し、改善点を常に考え実行に移す - 市民当番制 7:00～9:00や19:00～21:00、21:00～22:00etc - ホールの企画として習い事（楽器の演奏、ダンス、日舞、演劇）などの教室（ワークショップ）を行い、舞台での発表会まで - 特に高齢者が元気に楽しく参加できるイベントには、リーダーとしての実施者となりたいと思っている - 市内の特技、技術を持った人を登録して講座を開催依頼 - 講座やボランティア等の実施時には協力を原則として参加したい - ホリプロと市民参加のつながりはどうするのか？ - 館内、館外リアルタイムカメラをつけて発信 - 各施設の利用状況がわかるようにする（使用したい時にすぐにわかるように）→アプリ

今回で「古河市新公会堂を考える市民ワークショップ」は終了となります。全5回を通して、市民の皆さんから様々なアイデアをいただきました。ありがとうございました。いただいたアイデアやご意見を参考としながら、より良い施設を目指して引き続き検討を重ねてまいります。今後も市民説明会など、様々な意見をいただく場を企画しています。これから新公会堂に関心を持っていただくと幸いです。



図 1.10 第5回市民WS ニュースレター（2/2）

2. 中高生ワークショップ (WS)

2.1. ニュースレター

第1回 令和5年12月9日(土) テーマ「古河のじまん・ふまんを考えよう」

古河市新公会堂を考える 中高生ワークショップニュースレター
テーマ「古河のじまん・ふまんを考えよう」

中高生 WS ニュースレター (仮)

Vol. 1

新たに整備を進めている(仮称)新公会堂について、様々な世代のご意見を伺うため、「第1回(仮称)古河市新公会堂を考える中高生ワークショップ」を開催しました。グループワークでは、活発な議論が交わされました。たくさんのご意見ありがとうございました。

開催概要
日時 12/9(土) 10:00~12:00 参加者 古河市内の中高生 30名
会場 ヤクルトはなももプラザ 多目的ホール

プログラム
● これまでの検討経緯
● ワークショップについて
● グループワーク
● グループ発表 (1チーム5分程度)
● 次回予告・なんでもアンケートの記入等

ゆきだるまチーム

じまん

- ・総合公園など広い場所が多い
- ・多様な目的で利用できるホールがある

ふまん

- ・ともだちと遊べる場所がない
- ・休日に気軽に過ごせるところがない
- ・練習できるホールがない

サンタチーム

じまん

- ・県外からのアクセスが良い
- ・自然が豊か

ふまん

- ・交通手段が少ない
- ・文化的な活動ができる施設が整っていない
- ・どんなホールや劇場があるのかがよくわかっていない

こたつチーム

じまん

- ・大きくてきれいな公園がある
- ・美術館や伝統的な神社など歴史を知ることができる施設が多い

ふまん

- ・商業施設が少ない
- ・学習するためのスペースがほしい
- ・広々とした演奏スペースがほしい
- ・交流する場所を増やしたい

トナカイチーム

じまん

- ・古河市から他の県に移動しやすい
- ・伝統的な祭りがある

ふまん

- ・近くに体育館がない
- ・特徴的な建物が少ない
- ・文化に触れる機会がほしい

いずれのチームにおいても、部活動や文化芸術などの活動ができる練習室や学習スペースが、地域には充実していないとの意見がありました。また、気軽に足を運べるような施設がなく、地域住民と交流できる機会が少ないとの意見も挙げられました。

裏面ではグループワークで出たご意見を紹介しています！

図 2.1 第1回中高生 WS ニュースレター (1/2)

グループワークでは、①古河市のじまん・ふまん、②古河市の文化施設・文化活動に関するじまん・ふまんについて、班ごとに議論していただきました。

グループワークでのご意見

じまん

ふまん

まち

まちの文化

てんこ美術館がある	施設	映画館が欲しい / イマカフェがほしい	娯楽施設
色々な目的で利用できる公共ホールがある		休日に気軽に過ごせるところがない	
総合公園など広い場所が多い		遊園地など楽しめる場所が欲しい	
公園がたくさんある！		飲食店を増やしてほしい、飲食店が少ない	飲食店
大小様々な公園があって自然いっぱいの中で遊べる	公園	スタバがほしい	
公方公園など誰でも利用できるスポットがある		福祉施設が少ない / 施設が少ない	
大きくてきれいな公園がある		勉強会が出来たり、スタバとかがあったりしてほしい	
古河歴史博物館近くの紅葉		休日に気軽に過ごせるところがない	施設
夜の空がきれい		「ついでに寄る」っていうところがない	
野菜がうまい！	自然	少しの時間を埋められるような場所が欲しい！(スタバ…)	
自然が豊か		演奏できる十分な広さの施設がない	
緑が多い		音の響くホールが欲しい	
桜、ももがきれい		大きい温泉が欲しい	
自然があって落ち着く		いろんなスポーツをできる施設がほしい	
マーケットシティがある	娯楽施設	コンビニの種類が少ない	
遊び場が多い公園		同じようなお店が連続してあることが多い	
県外からのアクセスが良い		勉強できるスペースが少なく、テスト期間あまり友達と勉強できない	
他県に近いし、行き来しやすい	駅・交通	友達と遊ぶ場所がない / 近くで遊べる場所がない	遊び
駅がある		自転車で遊びに行ける場所が少ない	
電車が近くにある	勉強施設	中継生が気軽に遊べる場所があると良い(ラウンドワン、映画館…)	
勉強できる施設がある		買い物に行くのに不便 / イオンを大きくしてほしい	
飲食店が多い	飲食店	お買い物ができる大きい施設 / 大型ショッピングモールがない	
おいしいお店がある		図書館やショッピングモールを増やしてほしい	商業施設
おいしいご飯屋さんがある！		商業施設がほしい / 洋服屋さんほしい	
塾が多い	建物	道路がすこい混む / 道が狭い	
スーパーなどのお店が多い！		道路がでこぼこしていて危険 / 整備してほしい	
ギンビス・ヤマザキビスケットの工場		工事をしているところが多く、中断したり再開したりなど	
土地がいっぱいある		工事が終わらない	
まあまあ広い	その他	交通手段(機関)が少ない / 南古河駅がほしい	交通
高校が多い		新幹線が止まらない	
小学校も多い！		夕方の道が他の地域に比べて暗いところがある	
大河や名作映画のロケ地(公方公園、たかみ泉石、市庁舎)		どこに行くのにも少し時間がかかってしまう	
		市外から来た人でも、どこでも行けるようにアクセスを良くしたい	
		何か燃やしている人が多くてくさい	環境
		畑が多くて何も無い / 土地があまっている	
		公園の手入れができていないところとできていないところがある	
		虫が多い / 虫がいない	自然
		近くに体育館がない / 体育館がボロイ	その他
		部活動の時間が少ない	
		特徴的な建物が少ない / 古河城が復元されない	有名
		「古河といえはこれ！」というような代名詞(有名)なものがない	
		地域のひとと交流する機会が少ない	交流
		行事等で他校の出入りが禁止されている(中学校)	
ちようちん祭り / どまんなか祭り / よかんべ祭り / さんさん祭り / ド・マンナ祭りなどの祭りが多く、参加する人が多い	祭り	広いホールがない / (楽器を使って)練習できるホールがほしい	施設
家族や友達と行きやすいお祭りが多い		交流する場所を増やしたい	
公園でははなも祭りなどのイベントがさかん！		広々とした演奏スペースがほしい	
伝統的な祭りがあ	伝統	大会が開かれる場所が遠い / 音出し室をつけてほしい	
伝統的な踊りを学校でも取り入れている		茶道の発表できる場所がほしい	
古いお店が多いかも		場所がどこにあるかわかりづらい / 古河と言えは…がない	
遠藤達哉さん / 綾部裕二さん / 浅野恭司さん / 土井利位さん		目的に合ったところを選べるといい	認知度
白玉はつせ / こがぼう / 古河の納豆 / 大福 / カレーめん / 鮎の甘露煮(郷土料理)	食べ物	どんなホールや劇場があるのかよくわかっていない	
古河城があった / 寺や神社が多い / 鷲見泉石	歴史	遊ぶツールが少ない(インスタグラム等のツール)	
歴史を知ることができる施設がある		古河市民以外の人は古河市のことがわからない、知れる物がほしい	
歴史的美術館などの施設が多い		文化施設の近くに飲食店がない	その他
新しい文化施設がたくさんある(三和、コスモス、はなもも)	文化施設	もっと文化にふれる機会がほしい	
		まず文化について知らない人が多い	

次回予告！

第2回のワークショップのテーマは、「新公会堂でやりたいことを考える」です。(仮称)新公会堂で実施したい・観たい・体験したいイベントについて考え、年間カレンダーとしてまとめる回を予定しています！ニュースレター第2号の発行日は令和6年5月頃を予定しています。

図 2.2 第1回中高生WS ニュースレター (2/2)

第2回 令和6年5月11日（土） テーマ「新公会堂でやりたいことを考えよう」

古河市新公会堂を考える 中高生ワークショップニュースレター

古河に行こーか



Vol.2

開催概要

日時 5/11(土) 10:00～12:00 参加者 古河市在住の市民 28 名
会場 ヤクルトはなももプラザ 会議室

プログラム

- 前回のふりかえり
- ワークショップについて・事例紹介
- グループワーク
- グループ発表（1 チーム 5 分程度）
- まとめ・なんでもアンケートの記入等

第2回テーマ「新公会堂でやりたいことを考えよう」

令和6年5月11日（土）、「新公会堂でやりたいことを考えよう」をテーマとした第2回中高生ワークショップを開催し、総勢 28 名にご参加いただきました。

今回は、前回話し合った古河市の「じまん」を伸ばし、「ふまん」を解消していくために、（仮称）新公会堂でできることや、やってみたいことを考えました。市民ワークショップの成果も確認しつつ、勉強スペースや他校の学生との交流など中高生ならではの幅広いアイデアが出されました。

こいのぼりチーム

- 大ホール** 古河出身のアーティストを呼ぶ
合同の文化祭、定期演奏会
- 練習室** 楽器の練習ができる防音室、
休日にも練習できるように開放
- 共用部** 小さい子どもたちでも安心安全な
キッズスペース
- その他** 気軽に利用できる自習室、勉強を教え
てもらえる場所、飲食できるスペース



あやめチーム

- 大ホール** 交代制でゲームができるスペース
季節のものを使ったおもちゃ作り（どん
ぐりなど）
- 練習室** ジム
自由に使用できるスペース（1 人でも使
用可）
- 共用部** 小さな図書館などの勉強スペース
ゆっくりできるカフェ
- その他** 季節ごとに咲く植物を植える
サッカーコートなどのスポーツができる
スペース



かぶとチーム

- 大ホール** 有名な歌手やバンドなどを呼んで、
コンサートやライブをする、ミュー
ジカル
- 練習室** 演奏や演劇ができるホール、小ホー
ルで映画の上映
- 共用部** クリスマスイベント、友達とおしゃべ
りするところ、スポーツができるところ、
学校給食を大人も食べられる場所
- その他** 友達と勉強できるスペース、本が読め
るような小さな図書館



かしわもちチーム

- 大ホール** 映画の上映会、お笑いライブ、プラ
ネタリウム、特技自慢
- 練習室** 合奏、楽器の練習
- 共用部** フリーピアノを置きたい
- その他** 古河で作った食材を使って屋台など
でごはんを販売、もちつき、キッチン
カー



裏面ではグループワークで出たご意見を紹介しています！

図 2.3 第2回中高生 WS ニュースレター（1/2）

[illegible]

全2回の中高生ワークショップは今回をもって終了といたします。参加された皆さまありがとうございました。また今後、市民ワークショップは引き続きニュースレター等でお知らせしていく予定です。ぜひご覧ください。

14

3. ヒアリング記録

以下のヒアリングを令和6年11月に実施しました。詳細な記録は次頁以降に示します。
令和5年9月～10月にヒアリングを実施しましたが、施設の機能や規模が具体化したため、改めてヒアリングを実施しました。

※（仮称）古河市新公会堂基本調査報告書〔資料編〕165頁参照。

表 3.1 ヒアリング概要

ヒアリング 項目	ヒアリング対象・概要
学校ヒア リング	【対象】演劇部・吹奏楽部などで指導をしている教員 ①演劇関係（中学校・中等教育学校・高等学校） 3校 ②吹奏楽関係（中学校・中等教育学校・高等学校） 13校 【概要】以下について、事前アンケート及びグループヒアリングを実施 ・部活動、学校行事などでの既存文化施設の利用状況 ・新公会堂での利用想定、課題、要望など
ダンス教室 ヒアリング	【対象】市内ダンス教室 【概要】以下について、ヒアリングを実施 ・ダンス教室の実施状況（普段の活動、発表など） ・新公会堂での利用想定、課題、要望など

3.1. 学校ヒアリング記録

① 演劇関係（中学校・中等教育学校・高等学校）

日時	令和 6 年 11 月 21 日(木)15 時 00 分～16 時 00 分		場所	古河市役所 総和庁舎
出席者	ヒアリング先	● 古河第一中学校（以下、一中） ● 古河中等教育学校（以下、中等） ● 古河第三高等学校（以下、三高）		
	事務局	● 古河市プロジェクト推進課（以下、市） ● シアターワークショップ・日本工営都市空間設計共同体（以下、JV）		

■協議内容

1. 新公会堂の利用について

- 一中：演劇での利用は小ホールで十分対応できる。大ホールだと大きすぎて声が届かない可能性がある。
- 三高：地区の演劇コンクールであれば 300 席あれば問題ない。関東大会の際は取手市民会館（995 席）を利用した。取手市民会館の利用は県が手配しており、施設選択はしていない。ただし関東大会ではかなりの諸室数が必要になり、取手市民会館では隣接施設で部屋を借りられた事情もある。
- 三高：今回施設の 1,300 席については、ひたちなか市文化会館（1,368 席）で実施した全国大会規模になる。演劇利用としては大きい印象だが、卒業式など式典対応については全校生徒と保護者を収容するため規模が大きくなる。1,300 席は融通のきく大きさであると感じる。
- 中等：出演団体が多いこと、物を置く場所を考えると、袖は広い方が望ましい。
- 三高：観客としては出演生徒の保護者がほとんどで、出番が終われば帰る方もいる。常総市では 200 名弱ではないか。
- 中等：来年、再来年に取手市民会館で関東の演劇祭を実施するという話も聞いている。将来的には新公会堂でも可能性があるのではないか。
- 中等：新公会堂の利用イメージは小ホールになる。演劇の場合は舞台がメインになるため、ロールバックチェアでも大きな問題にならない。
- 三高：規模もあるが、利用料金が気がりである。料金が高額だと利用できない。学校関係利用での減免があると利用しやすい。常総市地域交流センターは学校経由で申込と無料になるため、利用している。
- 中等：基本利用料金と合わせて諸室利用料金がある。費用がかかると利用されないこともあると感じる。教育的には新公会堂を利用できるととても良い。

2. 活動諸室の利用について

- 三高：大会参加に向けた練習は、近隣の公園を利用している。また飲食可能なスペースも必要である。合唱コンクールで坂東市総合文化ホール ベルフォーレを

利用した際、お弁当を外で食べるよう指示があった。雨天だったためホワイエ利用となったが、学校行事で利用する際には飲食スペースがある方が望ましい。

3. バックヤードなど設備について

- 一中：搬入口から入ってすぐに物を置けるスペースがあると良い。
- 中等：はなもも体育館は舞台裏に物を置けるスペースがある。
- 三高：持込するパネルについては、3×6 尺のパネルが多い。3×9 尺で作る場合もある。ホールでは釘打ちが許可されている施設が少ないため、釘打ちは行っていない。水海道第一高等学校は、現地で大道具を作成していた。
- 三高：照明・音響機材については生徒が操作を行うことが多い。特に上位の大会になるほど、生徒だけで操作を行っている。
- 中等：音響機器にはスマートフォン対応の外部接続があり、さらに Wi-Fi 対応であることが望ましい。
- 三高：施設に常駐している舞台技術員がいると良い。セッティングの際に相談することができる。
- 中等：先日実施した大会でも舞台技術員が常駐しており、操作ミスがあった際に対応してくれていた。
- 三高：学校側で照明の仕込みを実施することはない。出演団体の入替があるので、あらかじめ決定した位置に吊り込みをしておいてもらう。確認時にイメージが異なる場合に調整しやすい方が良いので、バトンは昇降式が望ましい。
- 三高：袖幕については動かしたい希望もあるのではないかな。
- 中等：生徒の移動について、大型バスの頻度は高くない。ただし一般車両がある状態でも乗り降りができることが重要である。興行公演であれば、大型バスの乗りつけができる方が集客のためにも良い。
- 一中：中学校では搬入にトラックを利用し、生徒はバスで移動する。はなももプラザで実施する場合には、自転車で現地集合とすることもある。

以上

② 吹奏楽関係（中等教育学校・高等学校）

日時	令和 6 年 11 月 20 日(水)15 時 30 分～16 時 30 分		場所	古河市役所 総和庁舎
出席者	ヒアリング先	● 古河中等教育学校（以下、中等） ● 古河第三高等学校（以下、三高） ● 総和工業高等学校（以下、総和） ● 三和高等学校（以下、三和）		
		● 古河市プロジェクト推進課（以下、市）		
	事務局	● シアターワークショップ・日本工営都市空間設計共同体（以下、JV）		

■協議内容

1. 新公会堂の利用について

- 総和：大ホールはよい計画だと感じた。小ホールの移動観覧席を収納した際に、音が響きすぎてしまわないか懸念している。北川辺文化・学習センター「みのり」は、音が響きすぎて合唱にならない。
- 総和：小ホールの客席数は 300 席程度とあるが、100 席ほど増やすことは可能か。
⇒JV：敷地面積の関係上、100 席増やすことは難しい。
- 総和：共用部に音が漏れることはないか。
⇒JV：ホールは一般的にボックスインボックスの形状であるため、扉を閉めていれば音が漏れることは基本的でない。小ホールを練習で使用する場合は、吸音がしっかりとしていた方がよい。
⇒総和：鏡があると音が響きやすくなるため、吸音カーテンで隠せるとよい。床に絨毯は敷くのか。
⇒JV：床材はフローリングである。
- 総和：水戸市民会館の中ホールは音が素晴らしい。
⇒三高：大ホールも音が素晴らしい。特に 3 階席の響きがよかった。
⇒総和：君津市民文化ホールも音が素晴らしかった。
⇒JV：君津市民文化ホールは残響可変装置が入っている。
⇒市：理想の残響時間はあるか。
⇒総和：何を演奏するかによる。
⇒JV：サントリーホールが有名になって以降、残響時間が重視される傾向があるが、客席の位置や人数によって残響時間は変わるため、絶対的な数字ではない。
- 総和：大ホールに迫りはあるか。
⇒JV：迫りはない。オーケストラピットは客席前方の席を取り外すことで代用する。
⇒総和：昇降式ではないのか。
⇒JV：昇降式にすると整備費用の他に、メンテナンス費用も上乗せされる。
⇒総和：奈落はあるか。

- ⇒JV：空間としてはあるが、使用できるスペースとしては計上できない空間である。
- ⇒総和：栃木市文化会館や常陸太田市民交流センター・パルティホールは奈落下の倉庫を団体が使える。小山市立文化センターは昇降式のひな壇があるが、そういった機能はあるか。
- ⇒JV：電動のものはない。
- ⇒総和：一般的なひな壇で充分である。
- 三和：楽器は個人宅で保管しているが、ホールで保管できるとよいと思う。

⇒JV：現状ではピアノ庫以外の楽器庫は想定していない。

⇒三和：学校での教育的な利用も可能か。

⇒市：検討内容として今後につなげていきたいが、利用団体は1つではないのでルール作りが難しい。

⇒三和：市で所有する楽器があると、生徒は練習がしやすくなる。コンクールは自分の楽器で出場するが、音楽祭などのイベントでは楽器の貸出があるとよい。

⇒JV：打楽器などの大型楽器が特に需要があるか。

⇒総和：そうである。総和中には市で所有するハープがある。

⇒市：他校に貸すことはできるか。

⇒総和：おそらく可能である。
 - 市：大ホールは普段の練習でも使用するか。

⇒総和：普段の練習ではスタジオを使用することになると思われる。

⇒市：大会前のリハーサルで大ホールを使用する可能性はあるか。

⇒総和：本番と同じ会場でリハーサルすることはメリットがあるため、可能性は十分にある。
 - 市：この規模であれば県西大会の開催は可能か。

⇒総和：可能である。駐車場が不足すると、利便性が落ちる。

⇒市：候補地1は立体駐車場になる可能性がある。

⇒総和：駐車場は十分ないと困る。

⇒JV：大会は現地集合か。

⇒三高：生徒は学校に集合してバスで会場まで移動、楽器はトラックで会場まで運搬し、家族は直接現地に行く。

⇒総和：結城市民文化センターアクロスは駐車場の確保に苦慮している。

⇒三高：アクロスは座席数に比べて駐車場が少ない。駐車場が市役所と共用になり、不足がより深刻になった。

⇒総和：駅から行きやすいのはどちらの候補地か。

⇒市：どちらもおよそ1kmで、大きな差はない。
 - 三高：大会の運営側としては、搬入口がどうなるか気になっている。

⇒JV：これまでのヒアリングで、11tトラックが2台横につけられるとよいと聞いている。敷地に余裕があれば、もう1台入れられる可能性もある。留め置きは

難しくても、入れ替えながら搬入出することは可能である。

2. 活動諸室の利用について

- 三高：練習室と大ホールの動線はどのようになるか。
⇒市：練習室は4部屋程度設け、2階に配置される予定である。練習室も大会で使用するか。
⇒三高：楽器置き場として使用する。小ホールで音出しをしてから本番に出ることもあれば、練習室で音出し、小ホールで最終リハーサルをして出ることもある。後者のほうがありがたい。
⇒市：打楽器などの大型楽器も練習室に運ぶのか。
⇒三高：打楽器は他楽器と別動線で直接舞台に搬入する。演奏後に他の団体との入れ替えの順番待ちで1時間待つこともあったので、そのようなことがないようにしてほしい。

3. バックヤードなど設備について

- 総和：搬入時は屋根のある空間が必要である。
⇒三高：搬入を地下にすることは検討しているか。
⇒市：どちらも浸水想定区域にあたるため、地下からの搬入は考えていない。

4. その他

- 三高：会場費が高騰することを懸念している。少子化や物価高騰を受け、大会費用の集金に苦勞している。結城市民文化センターアクロスは2日間全館貸し切りで100万円を超す会場費がかかる。茨城県吹奏楽連盟の県の事務局は、ザ・ヒロサワ・シティ会館を使用してきたが、水戸市民会館で開催するようになり、会場費が4倍になった。2日間で会場費が200万円となると、会場候補から外す可能性がある。
⇒市：会場費はまだ決まっていないが、管理運営計画を策定する際、周辺地域の料金も考慮して検討していく。
⇒三高：アンサンブルコンテストは少人数の出演になるため、大ホールで開催すると赤字になる。数年前から小ホールを本番、大ホールを練習室として使用しており、2日間で70万円前後の会場費となる。
- 市：本番の利用料金が高いのは、チケットが有料であるためか。
⇒三高：本番利用と練習利用では料金が違う。入場料をとると、本番利用料金はさらに高くなる。
⇒JV：受益者負担であるため、利用料金は高くならざるを得ない。近年は一律減免をしない施設も増えている。客席単価で考えると、利用料金は野木エニスホールよりは高くなってしまう。
⇒三高：県吹連は非常に財政が厳しく、心配している。県西地区は規模が小さい

ため、利用料金が高すぎると運営が成り立たなくなってしまう。

⇒市：他の地域の財政状況はいかがか。

⇒三高：県南地区は人口が多く団体も多いため、収入が多い。県央地区も収入が多い。県北地区、鹿行地区、県西地区は財政が厳しい。県北地区は繰越金が潤沢にあるが、日立シビックセンターは高すぎるため常陸太田市民交流センター・パルティホールを使用している。鹿行地区は厳しいが、鹿島勤労文化会館を安く使用できる。

⇒総和：鹿島勤労文化会館は無料で使用できると聞いたことがある。

- 市：候補地1でも大会は開催可能か。候補地1については、敷地面積が狭く、バスの乗り入れは難しい可能性がある。

⇒三高：可能である。バスは回送できるため、問題ない。

⇒市：普通の吹奏楽の大会でもバス回送してもらえばいけるのか。

⇒総和：大会あったほうが利益はあがると考えてよいか。

⇒市：大会を誘致することができれば古河市の認知度も高くなるためあがると考える。

- 中等：建設候補地1と2について、そこまで敷地面積に差があるのか。

⇒市：建設候補地1は1ha、建設候補地2は3haくらいの敷地である。

- 三高：牛久市で利用する場合、減免が適用される牛久市中央生涯学習センター・文化ホールで県大会を実施している。大会の規模的にもちょうどよいサイズであるため、やはり減免は大きい。

⇒中等：学校関係で実施する場合は、さらに減免が適用される。結城市民文化センターアクロスは適用されないが坂東市総合文化ホール ベルフォーレは適用される。筑西のホールは1時間1万で、他と比較すると候補にあがらなくなってしまう。

⇒三高：野木エニスホールは使用料と舞台設備あわせて、25万円であるが、その金額は部費でまかなっている。

⇒JV：教育委員会の所管の直営館だから減免がきいている。

⇒市：管理運営についてはまだ計画していない。皆さんの意見を反映して作成していきたいが、指定管理だと減免は難しいのか。

⇒JV：人件費は無償にはできないため減免は難しい。

⇒総和：関東どまんなかサミットの地域では、栃木は小山から足利の先くらいまで減免が適用されておられると思われる。一方で館林は減免などの制度がないと思われるが、使用料が安い。ネーミングライツはあまり足しにはならないのか。

⇒市：あまり高いものはない。

以上

③ 吹奏楽関係（中学校）

日時	令和 6 年 11 月 21 日(木)16 時 00 分～17 時 00 分		場所	古河市役所 総和庁舎
出席者	ヒ ア リ ング先	● 古河第一中学校 （以下、一中） ● 古河第二中学校 （以下、二中） ● 古河第三中学校 （以下、三中） ● 総和中学校 （以下、総和） ● 総和北中学校 （以下、総和北） ● 総和南中学校 （以下、総和南） ● 三和中学校 （以下、三和） ● 三和東中学校 （以下、三和東） ● 三和北中学校 （以下、三和北）		
		● 古河市プロジェクト推進課 （以下、市）		
		● シアターワークショップ・日本工営都市空間設計共同体 （以下、JV）		

■協議内容

1. 新公会堂の利用について

- 三和東：大阪桐蔭高等学校が吹奏楽コンクールに出演する場合、結城市民文化センターアクロスでは舞台に乗り切らない。オーケストラピットを設けないと伺ったが、舞台を前にはりだすなどの対応で拡張対応できる形が良い。
- 一中：施設によって出演団体の入替時間は異なるが、原則 3 分間である。搬入口が大きくなると、対応が難しい。シャッターの開閉時間もこの 3 分間に含まれる。
- 一中：大ホールと小ホールを移動する際、階段を昇降するのは避けたい。
- 一中：駐車場の設置が必須である。楽器の積み下ろしができない場合には、利用施設の選択肢に入らない。優先順位としては、利用料金、駐車場、楽器が置ける部屋があるか、動線の順になる。
- 三和北：来場者に対しても、駐車場の設置が必須である。結城市民文化センターアクロスでの実施時には、入れ替え制としている。
- 三和東：駐車場の台数は、来場者の半数では不足である。結城市民文化センターアクロスの 450 台はまったく足りていない。
- 一中：宇都宮市文化会館は台数が多いが、それでも不足するイメージがある。
- 三和：駐車場があれば使い勝手がいいので候補に挙がる。そうでなければ既存施設を利用する。駅からも遠くなるので、車で来場が大多数ではないか。
- 総和北：利用料金については、坂東市総合文化ホール ベルフォーレが市と連携しており、かなり安価で利用できる。練習であれば坂東市総合文化ホール ベルフォーレを利用すればよいと保護者からも意見があった。
- 三和：子どもの数が減っているため、施設が子どもの練習を引き受けてくれるとありがたい。

- 総和北：大型楽器を置いておけるスペースが必要である。
- 三和：大型楽器を置ける拠点スペースとして利用できる施設であれば、稼働も上がるのではないかな。
- 一中：ひたちなか市でもジュニアバンドがホールと連携していると聞いている。吹奏楽にふれる子どもが減ってしまうことを危惧している。
- 一中：文化的な施設があれば市も活性化する。ぜひ完成していただきたい。

2. 活動諸室の利用について

- 一中：スタジオがあれば、楽屋としても、音出しの会場としても利用する。ホールと同フロアにあると良い。牛久市中央生涯学習センター・文化ホールでは一度動線が外に出ていたが、それは避けたい。

3. バックヤードなど設備について

- 一中：花道があれば、演出上利用することもある。踊ったり演奏したり、観客との距離が近いため利用している。
- 一中：小ホールにも音響反射板を設置していただきたい。
- 三和東：シューボックス型になるのは構わないが、音響反射板は設置いただきたい。
⇒JV：白河文化交流館コミネスの事例を説明。
一同：備品として簡易反射板を設置するよりも、白河文化交流館コミネスの小ホールの事例を採用する方が望ましい。
- 三和東：飲食については、結城市民文化センターアクロスでの実施時は飲食可能箇所がないので一度帰る対応になる。
- 一中：バスに戻って食べる場合が多い。公園の広場を利用することもある。

以上

3.2. ダンス教室ヒアリング記録

日時	令和 6 年 11 月 20 日(水)10 時 00 分～11 時 00 分		場所	ダンス教室
出席者	ヒアリング先	● 市内ダンス教室		
	事務局	● 古河市プロジェクト推進課（以下、市） ● シアターワークショップ・日本工営都市空間設計共同体（以下、JV）		
■協議内容				
1. ダンス教室について				
● 市内にスタジオが 2 つあり、古河地区のスタジオは約 100 人、総和地区のスタジオには約 70 から 80 人の生徒が在籍している。 ● 古河地区のスタジオと総和地区のスタジオはどちらも 2 部屋で、規模は同程度である。 ● 生徒数は増加しており、小学生が最も多い。年齢が上がるにつれ生徒数は減少していく傾向にあり、高校生になると減少が顕著である。総和地区のスタジオには 30 代、40 代の生徒もいる。 ● 小学生のクラスは 17 時 30 分ごろから 20 時ごろまで、中高生のクラスになると終了時間が 22 時ごろになることもある。月曜から土曜まで毎日開講している。クラスの人数はジャンルによるが、10 人以上のクラスが多く、多いクラスでは 30 人弱になる。 ● 先生の本数は両スタジオ合わせて 15 人ほど。ヒップホップ、ジャズ、ハウス、ポッピングの先生が在籍している。過去に生徒だった先生もいる。 ● 学校でのダンス指導はしていない。				
2. 発表について				
● 発表では 10 年以上野木エニスホールを使用している。来年以降は 2 スタジオ合同で発表を行う。 ● 発表はクラス単位で行う。最も人数が多いクラスでも舞台サイズは十分である。 ● 出演者が多いため楽屋が足りておらず、大ホールの楽屋に加えて小ホールの楽屋も押さえている。そのため、同日に小ホールの発表があると発表ができなくなってしまう。来年以降は合同の発表会となり出演者数がさらに増えるため、小ホールも楽屋として使用する予定である。 ● 全体の尺は 3 時間程度。多少の出入りはあるが、最後までいる方が多い。 ● 今年までであれば 800 席で座席は足りていたが、来年以降は 2 回に分けて入れ替え制にすることも検討している。 ● 野木エニスホールの駐車場は現状では足りている。 ● 照明・音響機材は毎年持ち込みをしている。				

- 舞台上に照明機材やスチールデッキを設置することもある。

3. 大会について

- 大会にはスタジオから選抜メンバーが出演する。近隣だけでなく全国の大会に出場している。
- 古河関東ド・マンナカ祭りには毎年出演している。地元の友達が見にきてくれるため、出演したいという生徒が多い。

4. 近隣施設の利用について

- 結城市民文化センターアクロスと野木エニスホールでは、結城市民文化センターアクロスの方が照明の仕込みがいがあると担当者から聞いている。
- 結城市民文化センターアクロスは車でないと行けないため見に行きにくく、野木エニスホールを長年使用している。
- 野木エニスホールの使用申込みは使用月の1年前からで、できるだけ抽選にならないように利用者間で事前に申込日を調整することもある。
- はなももプラザやいちょうプラザでコンテスト用の動画を撮影することがある。
- 市内施設は予約の締切を過ぎた場合、予約が入っていても借りることができず不便である。施設に直接行くのではなく、インターネットで予約できるようにしてほしい。
- スペースU古河は衣装付きのリハーサルや季節のイベントに使用している。

5. 新公会堂への要望について

- ウォーミングアップに使用できるスペースは必須ではない。
- 大部屋を入れ替えで使うことが多いため、広い楽屋があるとよい。
- 練習室には音響機材がほしい。防音機能も必要である。
- ホールでの発表の音が他の部屋に漏れないようにしてほしい。
- リノリウムは使用していないため、必要ではない。
- 床にクッション性は必要ない。木の床でよい。
- 敷地が広いのであれば、アーバンスポーツなどの若者向けの施設があるとよい。古河にはDJやラップをやっている人も多いため、野外で音楽イベントができる施設の需要も高いのではないかと。

以上

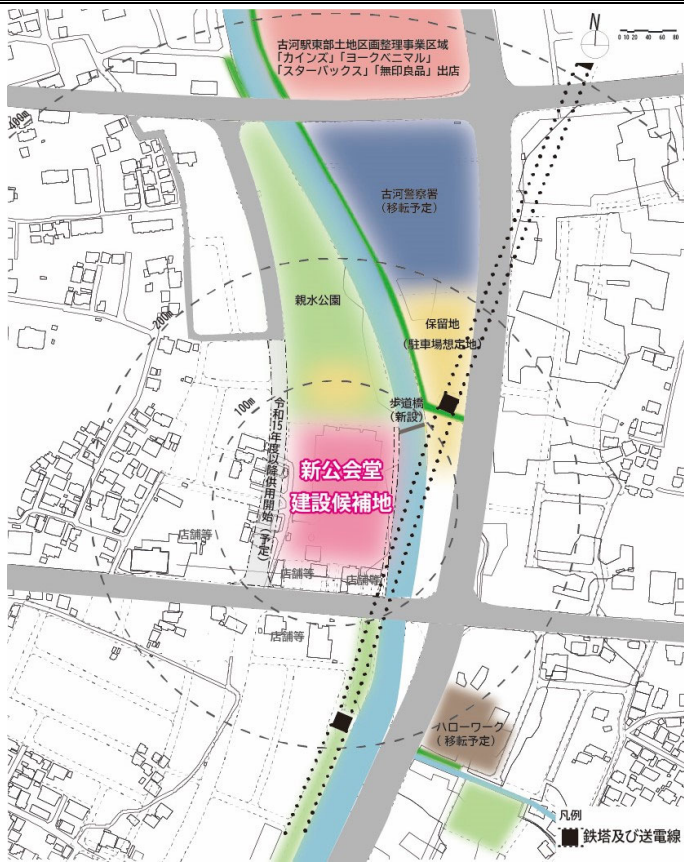
4. 建設候補地の検討結果

4.1. 各候補地の特徴

4.1.1. 候補地①（旧古河体育館跡地）

候補地①の特徴は表 4.1 のとおりです。

表 4.1 候補地①の特徴

項目	内容
広域図	
住所	古河市旭町 2 丁目 21-4
敷地面積	約 1ha
古河駅からの距離	直線約 1.7km（徒歩 22 分）
土地所有	古河市
用途地域	第一種住居地域
容積率・建蔽率	60%・200%
浸水	思川：0.5m～3m 未満 利根川・渡良瀬川：0.5m～3m 未満
道路状況	南：幅員約 18m 西：幅員約 2～4m 南側道路は古河駅と市内を結ぶ主要道路（食のおかさと十間通り）である。西側は区間整理事業による道路が計画されており、道路が拡幅される予定である。
敷地状況	既存の体育館、土俵、樹木などがある。

4.1.2. 候補地②（大堤地内）

候補地②の大堤地内については、文化・産業・商業の交流機能を備えた新たなまちづくりを目的に、ショッピングモールや産業交流施設を誘致する未来産業用地開発事業（大堤地区）として整備します。候補地②の特徴は表 4.2 のとおりです。

表 4.2 候補地②の特徴

項目	内容
広域図	
住所	古河市大堤
敷地面積	約 17ha の内、約 2.7ha ※建設場所は民間事業者の提案となる。
古河駅からの距離	直線約 1km（徒歩 23 分）
土地所有	私有地
用途地域	市街化調整区域
容積率・建蔽率	60%・200%
浸水	思川：3.0m～5.0m 未満 利根川・渡良瀬川：5.0m～10m 未満
道路状況	北：幅員約 9m 東：幅員約 5m 南：幅員約 7m 西：幅員約 10m(約 20m に拡張予定) 敷地東側に都市計画道路（幅員約 27m）の計画がある。
敷地状況	農地であり、開発可能範囲が広いが、鉄塔・電線が多い。

4.2. 候補地に求められること

施設機能の基本方針、法規制の検討を踏まえて、建設候補地に求められることを建築基準法上・配置・動線・機能別に項目を設け、整理しました。

候補地に求められることは表 4.3 のとおりです。

表 4.3 候補地に求められること

	項目	内容
① 建築基準法上	a. 施設用途	建設できる建物用途は、都市計画法に定める用途地域ごとに制限がある。
	b. 接道	客席数の定員による区分に応じて、敷地の外周の 1/7 以上が一定の幅員を持つ道路に接している必要がある。 ※古河市建築基準条例第 37 条：客席数の定員 1000 席以上の場合、接道すべき道路幅員は 8m 以上
② 配置	a. 斜線・日影規制	隣地や道路から一定の斜線制限や、建物による周囲への日影を抑制する規制がある。 ※建築基準法第 56 条（斜線制限）第 56 条の 2（日影規制）
	b. 駐車場	市民意向や地域特性を踏まえ、駐車台数はホール座席数の半数程度は確保することが望ましい。
	c. バリアフリー	条例上、エントランス近くに車椅子用駐車場を配置することが求められる。 ※茨城県ひとにやさしいまちづくり条例第 5 条
	d. 敷地内空地	建物の周囲には、原則として幅 2m 以上の空地を設ける必要がある。また、施工上の安全・騒音対策としても、隣地境界線から十分に離隔距離を確保することが望ましい。 ※古河市建築基準条例第 39 条
③ 動線	a. アクセス道路	来場者と搬入・演者の車両アクセス動線を区分するため、2 方向の道路からの出入りが望ましい。 車両動線は、交通安全のため、幹線道路から滞留長を確保できる道路に左折で入場、もしくは信号交差点を介し、敷地内に入ることが望ましい。
	b. 車両動線	敷地内の車両動線は、エントランス近くに車寄せを設け、左回りで（敷地内）一方通行動線であることが望ましい。搬入用の大型トラックが回転できる敷地内通路の確保が必要。
	c. 歩車分離	安全性確保のため、歩行者と車両の動線は区分されていることが望ましい。

	項目	内容
④ 機能	a. 大ホール	大ホールの規模は、客席 1,300 席規模のホールが配置できることが望ましい。
	b. 小ホール	小ホールの規模は、客席 300 席規模のホールが配置できることが望ましい。
	c. その他	練習室は市内既存文化施設との機能分担を鑑み、スタジオを 4 室程度設けることが望ましい。また情報スペース・学習スペース・展示スペース・アーカイブなどの機能を有する共用ロビーを設けることが望ましい。
⑤ 費用		建物整備に係る費用だけではなく、設計、外構、造成、用地取得など、事業全体に係る費用を想定する必要がある。
⑥ スケジュール		現状の敷地条件に基づき法令手続きなどの課題を考慮したスケジュールとする必要がある。

4.3. 候補地1の検討結果

4.3.1. 建築基準法

候補地に求められることに対して、候補地1の建築基準法上の検討結果は表 4.4 のとおりです。

表 4.4 建築基準法における検討結果

	項目	内容
① 建築基準法上	a. 施設用途	現状の用途地域では、新公会堂は建設できないため、用途地域の変更の手続きが必要。
	b. 接道	現況道路の場合、令和 15 年以降開通予定の区画整理による道路（西側予定道路）が整備された場合でも、接道条件を満たしていないため、西側道路の接道部分や親水公園との調整などが必要。

4.3.2. 配置

候補地 1 に配置する場合の検討結果は表 4.5 のとおりです。詳細イメージは図 4.1 に示します。

表 4.5 配置の検討結果

	項目	内容
② 配置	a. 斜線・日影規制	狭い敷地の中で日影規制をクリアするため、高い建物を配置できる位置が限られる。
	b. 駐車場	敷地内は建物規模を最大限確保するため、駐車場は最低限の関係者用 9 台、思いやり駐車場 8 台のみとなる。 一般利用者駐車場は、敷地外の歩道橋を経由した立体駐車場 600 台となる。
	c. バリアフリー	建物のエントランス近くに求められる思いやり駐車場は確保できるが、狭い敷地内では、配置できる位置が限られる。
	d. 敷地内空地	敷地が狭いため、配置できる建物規模（特に大ホール）に限りがある。 また東側の河川による高低差や南側の隣地に民家があるため、特に配慮する必要があり、建物を配置できる位置が限られる。

建築可能範囲

- ・東側：車両動線の確保（8m）
- ・西側：車両・歩行者動線の確保（10m）
- ・南側：車寄せ・隣地からの離隔距離確保（16m）
- ・北側：車両・歩行者動線の確保（10m）

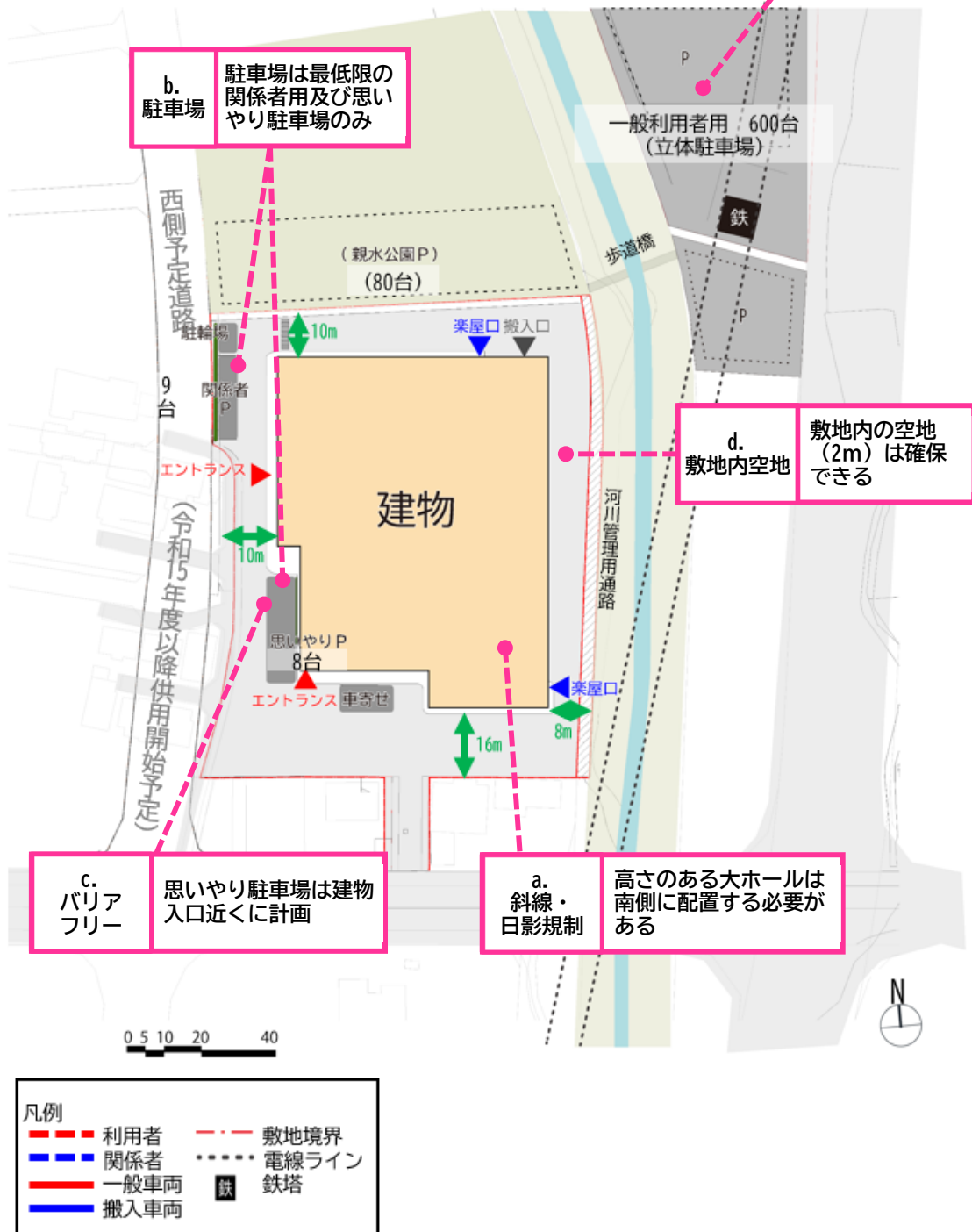


図 4.1 配置検討結果の詳細イメージ

4.3.3. 動線

候補地 1 に配置する場合の検討結果は表 4.6 のとおりです。詳細イメージは図 4.2 に示します。

表 4.6 動線の検討結果

	項目	内容
③ 動線	a. アクセス道路	西側道路は狭あいかつ住宅地内のため、南側の食のおかさと十間通りからのみのアクセスとなり、2 方向の出入りや渋滞緩和のための滞留長確保が難しい。
	b. 車両動線	敷地内の車両動線は、右回りで一方通行となる。また建物北側の搬入口まで大型トラックが通行できる通路を確保する必要がある。建物南側の車寄せは転回スペースが狭いため、中型・大型バスなどの利用はできない。
	c. 歩車分離	南側の旗竿敷地の幅が狭く、車両は敷地南側、歩行者は敷地西側からのアクセスに制限される。また敷地外の一般利用者駐車場からの歩行者動線を確保するため、歩道、歩道橋、横断歩道を計画する必要がある。

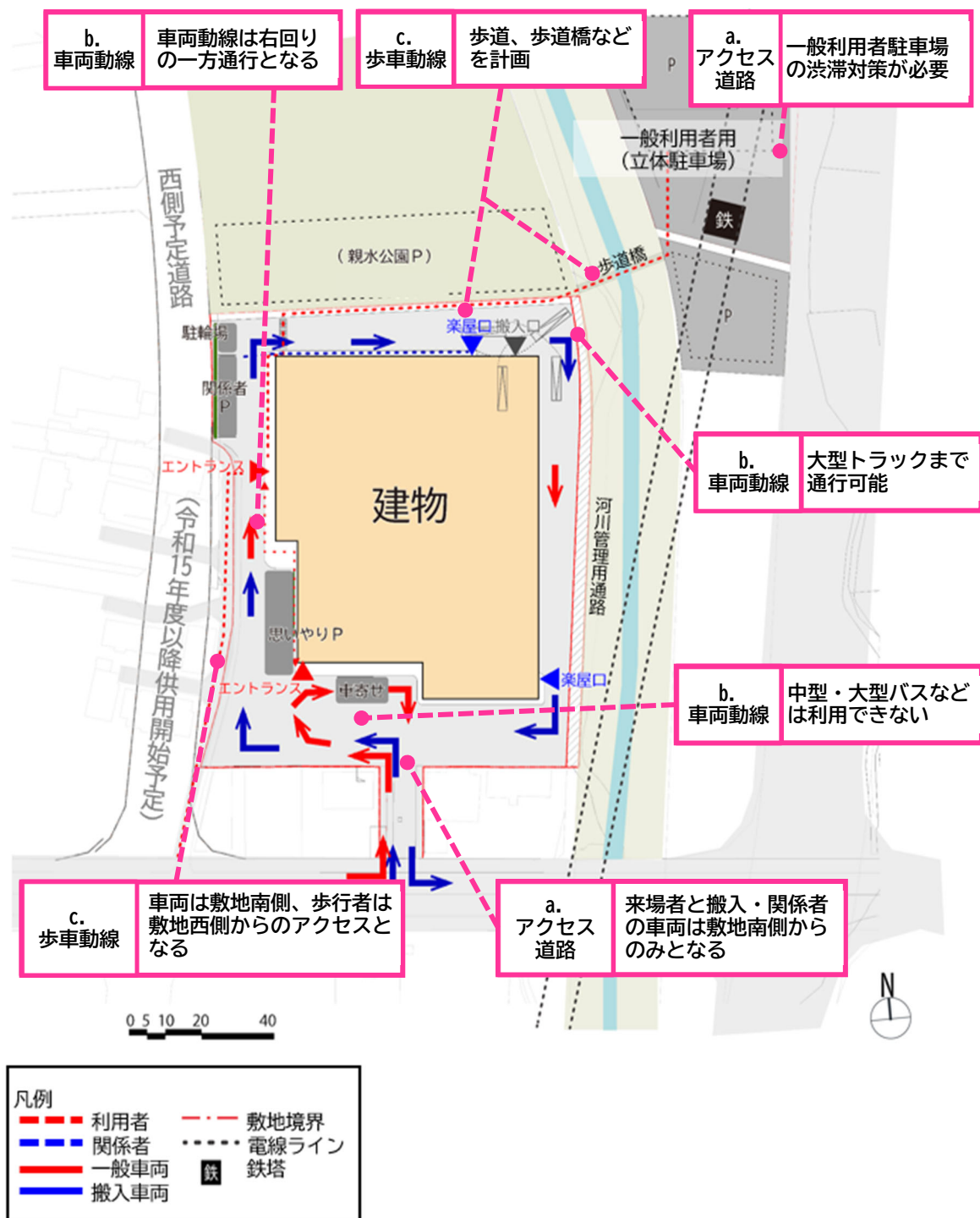


図 4.2 動線検討結果の詳細イメージ

4.3.4. 機能

大ホール・小ホール・その他機能の検討結果は表 4.7 のとおりです。平面イメージを図 4.3、図 4.4、断面イメージを図 4.5 に示します。

表 4.7 機能上の検討結果

	項目	内容
④ 機能	a. 大ホール	敷地の制約上、大ホールの客席は3層となり、1,150席しか確保できない。
	b. 小ホール	小ホールは舞台と客席を含め平土間で10間×10間(18m×18m)(大ホール舞台分)のスペースを最低限確保し、客席数は290席しか確保できない。また敷地の制約上、小ホールにはトイレは設けず、共用トイレと兼用する必要がある。
	c. その他	敷地の制約上、エントランスホールと小ホールのホワイエの重ね使いをする必要がある。 また共用スペースに情報・学習・展示スペース・アーカイブなどの面積を確保することは難しく、スタジオは敷地の制約上、2階にまとめて配置する必要がある。

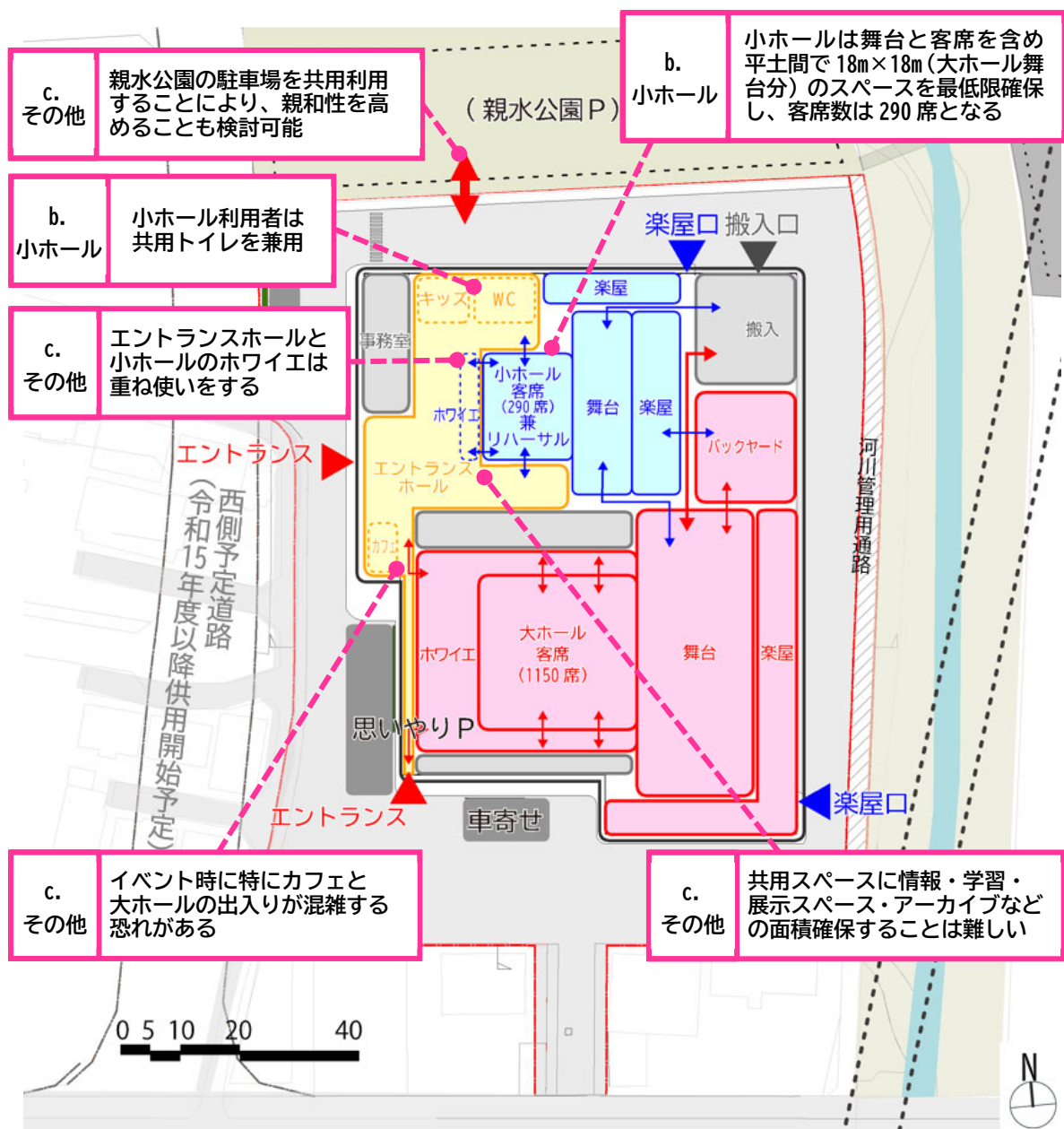


図 4.3 平面イメージ (1/2)

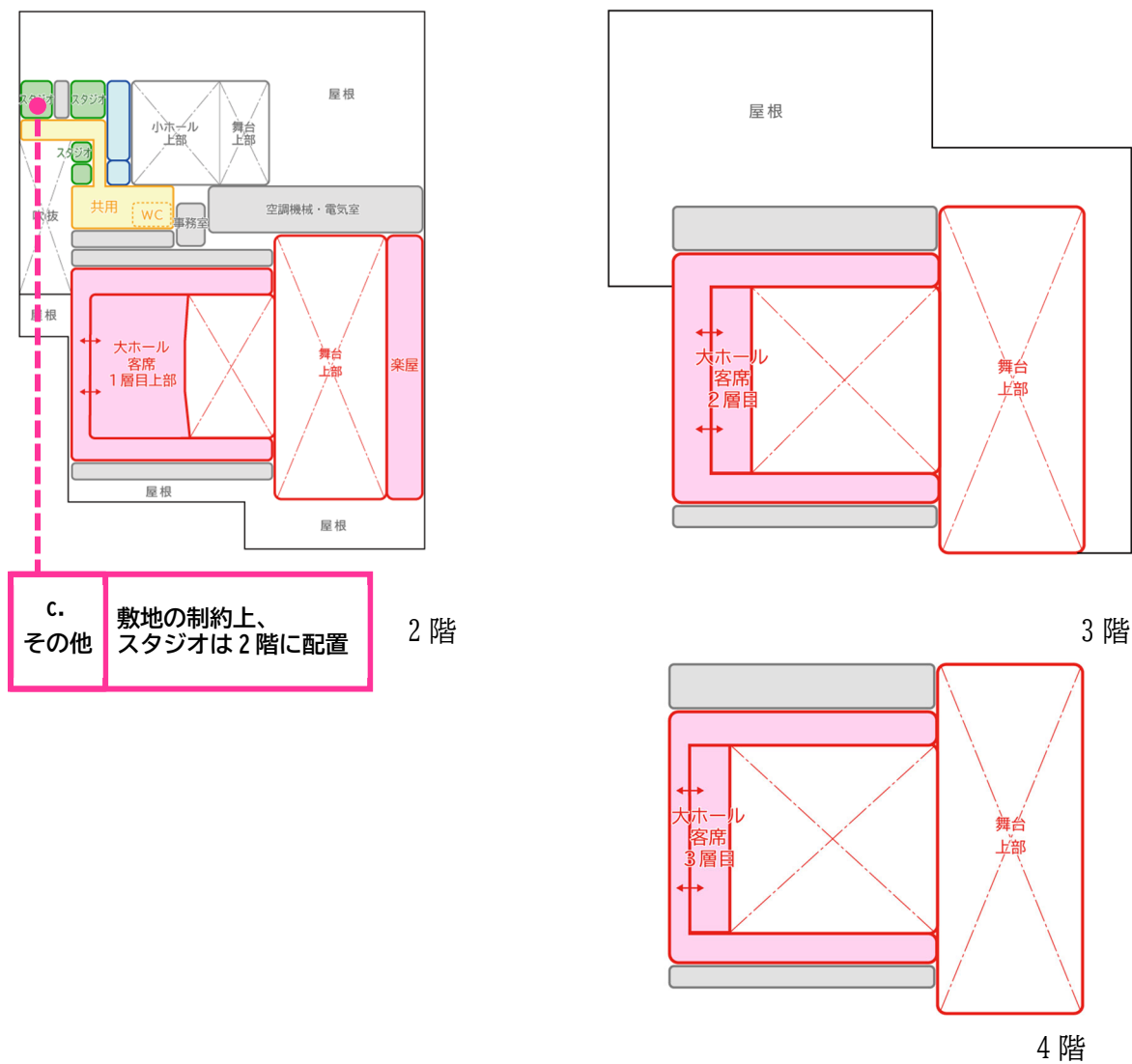


図 4.4 平面イメージ (2/2)

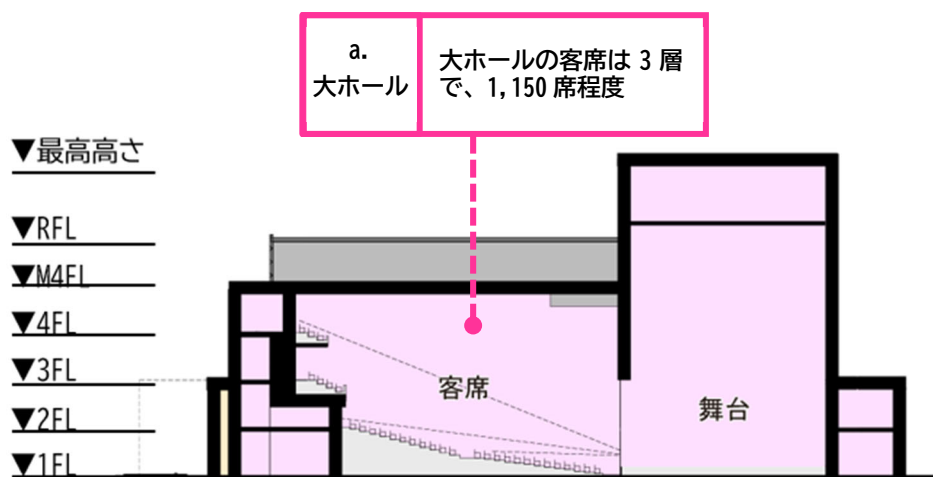


図 4.5 断面イメージ

4.3.5. 費用・スケジュール

建築基準法・配置・動線・機能の検討結果を踏まえ、費用・スケジュールに対する検討結果は表 4.8 のとおりです。

表 4.8 費用・スケジュールの検討結果

項目	内容
⑤ 費用	設計に加え、建物整備、外構整備、敷地外の立体駐車場用地の取得、歩道橋の建設、備品費などを見込む必要がある。
⑥ スケジュール	旧古河体育館跡地の解体後の建設となるため解体工事期間を見込む必要があり、西側道路の開通期間と調整する必要がある。 ※敷地拡張などをする場合は、移転などが伴うため工事を数年上乘せする必要がある。

4.4. 候補地2の検討結果

4.4.1. 建築基準法

候補地に求められることに対して、候補地2の建築基準法上の検討結果は表 4.9 のとおりです。

表 4.9 建築基準法の検討結果

	項目	内容
① 建築基準法上	a. 施設用途	現状は市街化調整区域で、新公会堂は建設できないため、地区計画の手続きが必要。
	b. 接道	計画の工夫により対策可能。

4.4.2. 配置

候補地²に配置する場合の検討結果は表 4.10 のとおりです。詳細イメージを図 4.6 に示します。

表 4.10 配置上の検討結果

	項目	内容
② 配置	a. 斜線・日影規制	敷地設定により北側の住宅などへの配慮が必要となるが、十分な敷地面積があり、配置の工夫により離隔確保可能。
	b. 駐車場	十分な敷地面積があるため、一般利用者用 650 台を確保可能。また利便性向上のため、関係者用駐車場近くに搬入ヤードを計画することも可能。
	c. バリアフリー	建物のエントランス近くに求められる思いやり駐車場を確保できる。
	d. 敷地内空地	敷地内を通過する鉄塔・電線を避けた計画が必要であるが、十分な敷地面積があり、広場などを計画し、外部と一体的な空間も検討可能。

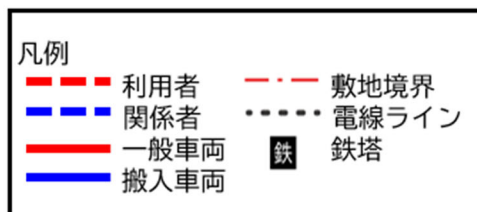
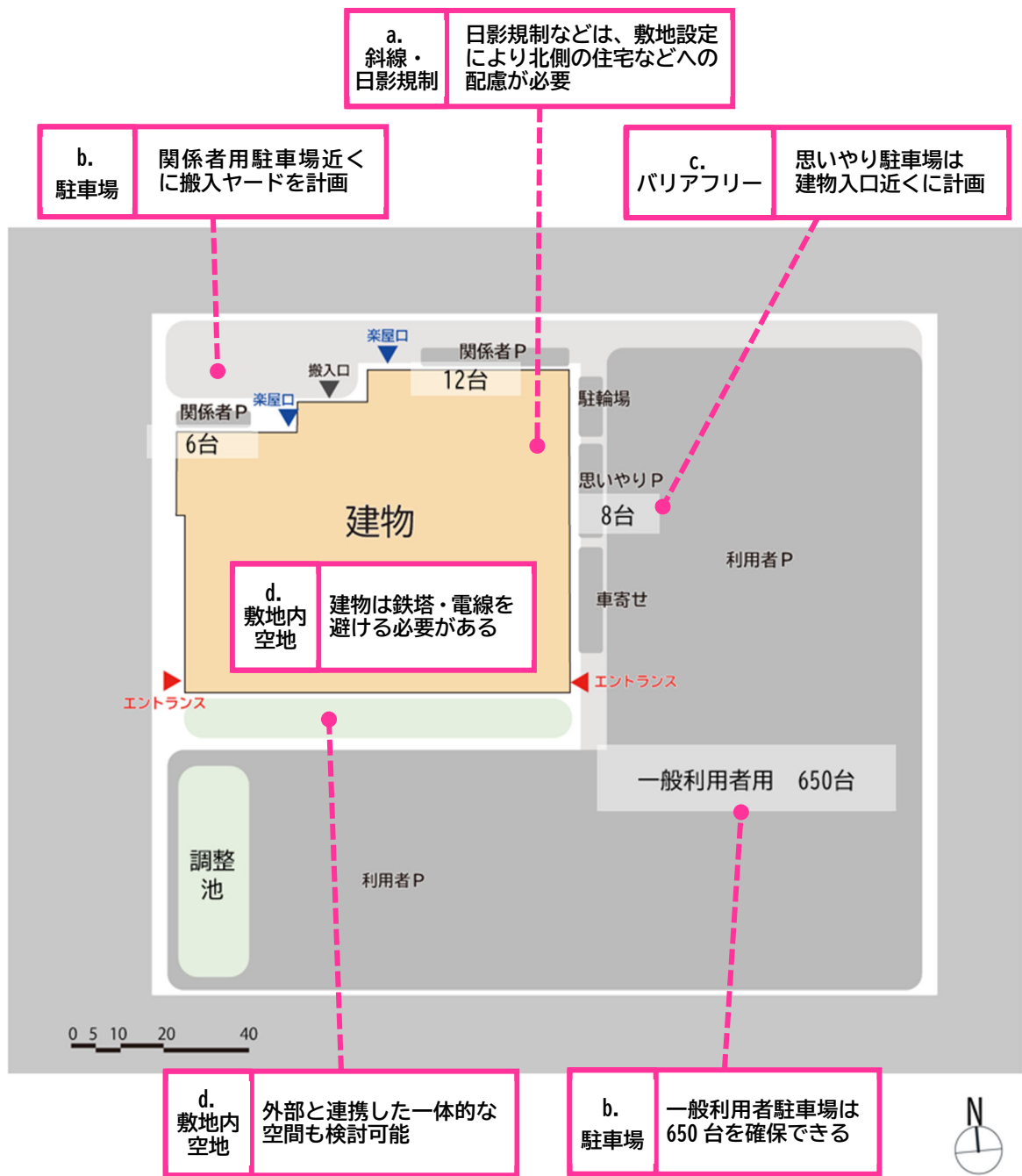


図 4.6 配置検討結果の詳細イメージ

4.4.3. 動線

候補地②に配置する場合の検討結果は表 4.11 のとおりです。詳細イメージを図 4.7 に示します。

表 4.11 動線上の検討結果

	項目	内容
③ 動線	a. アクセス道路	日常的に渋滞が発生するエリアに近接する大規模な開発となるため、集客施設を整備する上では道路管理者や警察から対策を求められる可能性が高いため、商業施設などの施設計画や、車両の動線計画と調整が必要。
	b. 車両動線	十分な敷地面積があり、配置の工夫により計画可能。
	c. 歩車分離	十分な敷地面積があり、配置の工夫により計画可能。

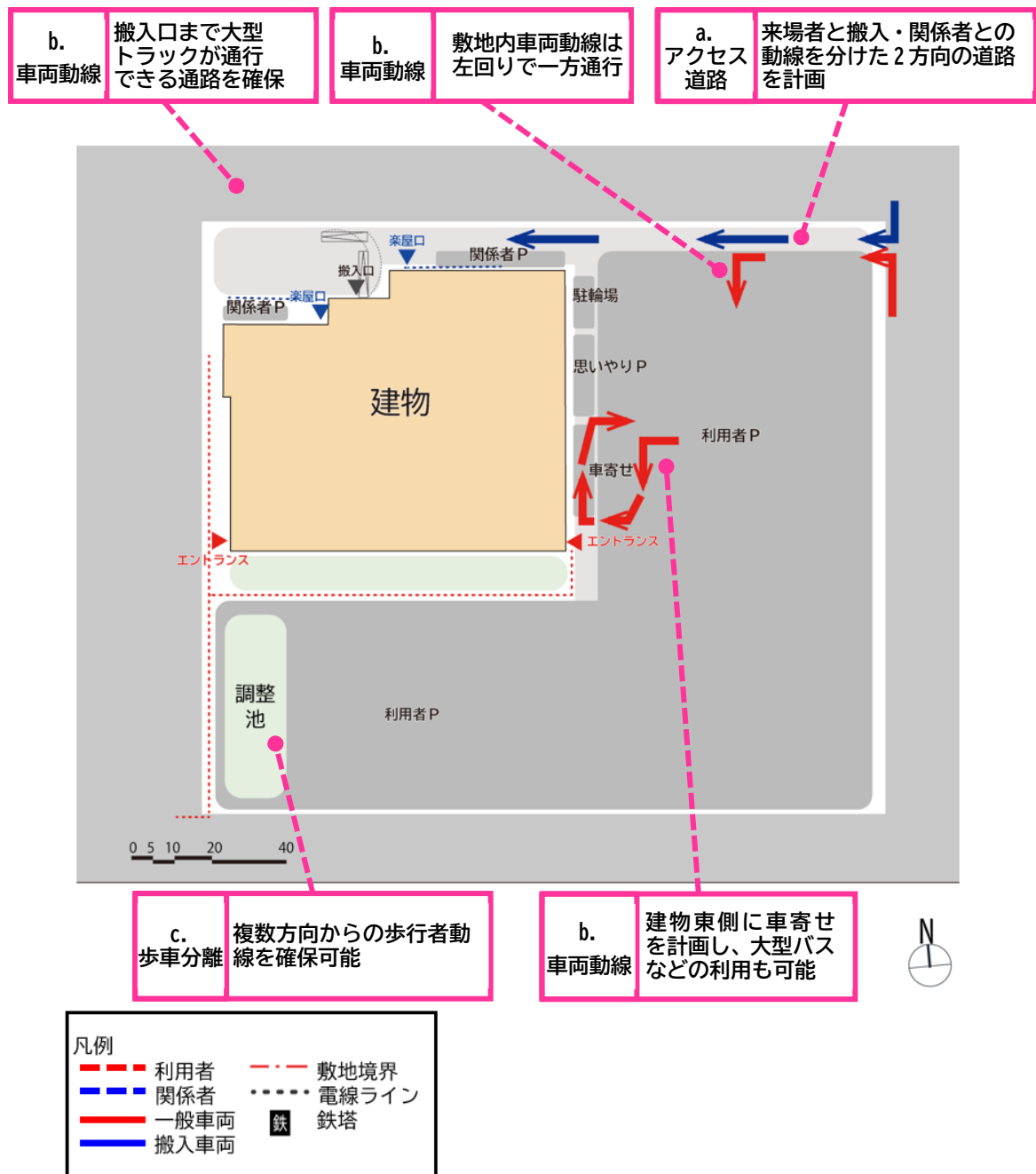


図 4.7 動線検討結果の詳細イメージ

4.4.4. 機能

大ホール・小ホール・その他機能の検討結果は表 4.12 のとおりです。平面イメージを図 4.8、図 4.9、断面イメージを図 4.10 に示します。

表 4.12 機能上の検討結果

	項目	内容
④ 機能	a. 大ホール	大ホールの客席は2層で、1,300席となる。
	b. 小ホール	小ホールは舞台と客席を含め平土間で10間×10間（18m×18m）（大ホール舞台分）のスペースを確保し、客席数は330席となる。
	c. その他	(1) エントランスホールはスペースの効率化を図りながらも共用部をとおりつつ様々な機能に触れられる計画とした。 (2) スタジオは楽屋利用もできるように各ホールからアクセスしやすい1階に計画した。 (3) ホワイエやエントランスホールは外部と連携した一体的な空間も検討可能。 (4) 2階に設けるスタジオなどは、吹抜けにより日常的な活動が来場者から見ることのできる計画とした。

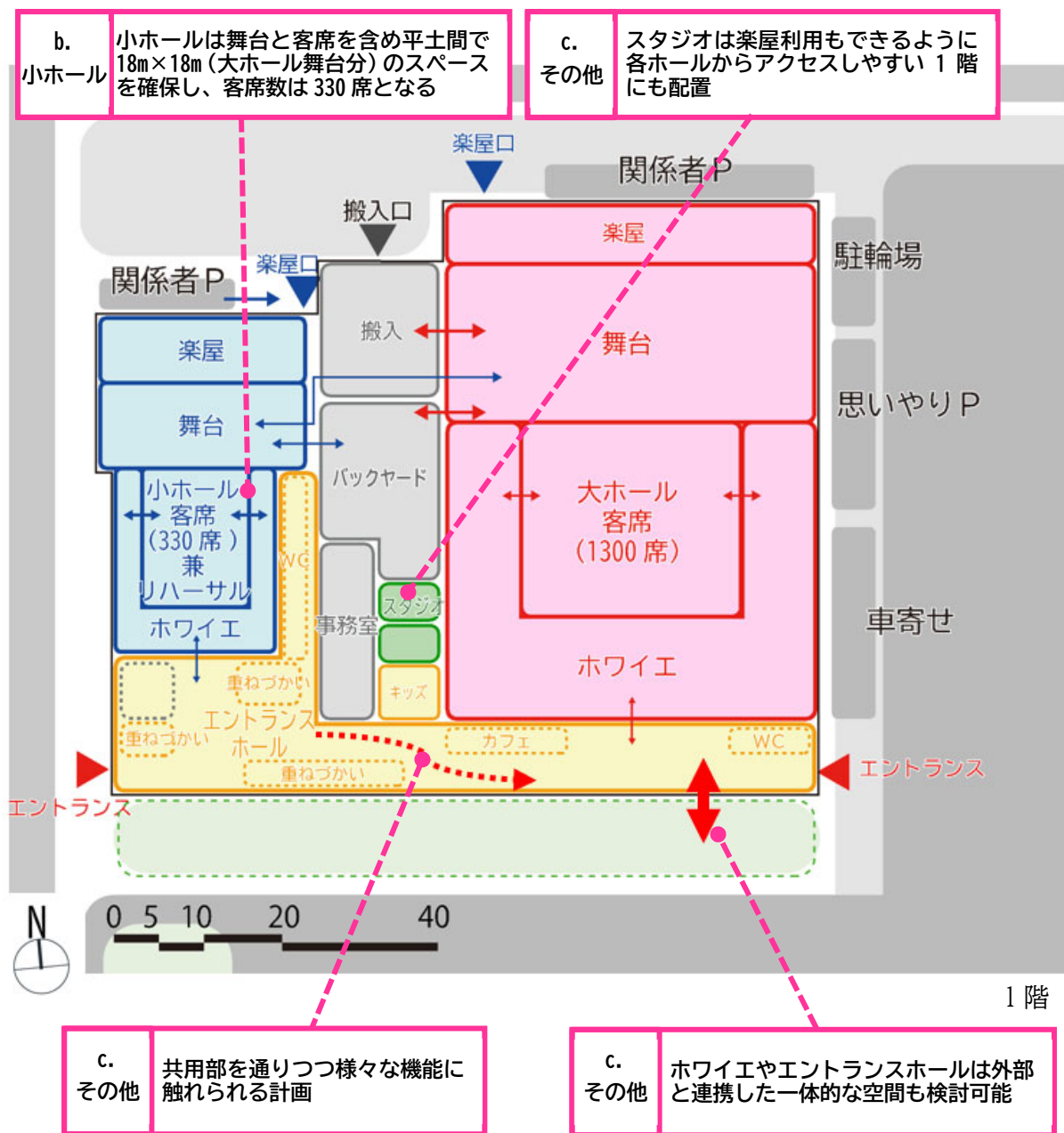


図 4.8 平面イメージ (1/2)

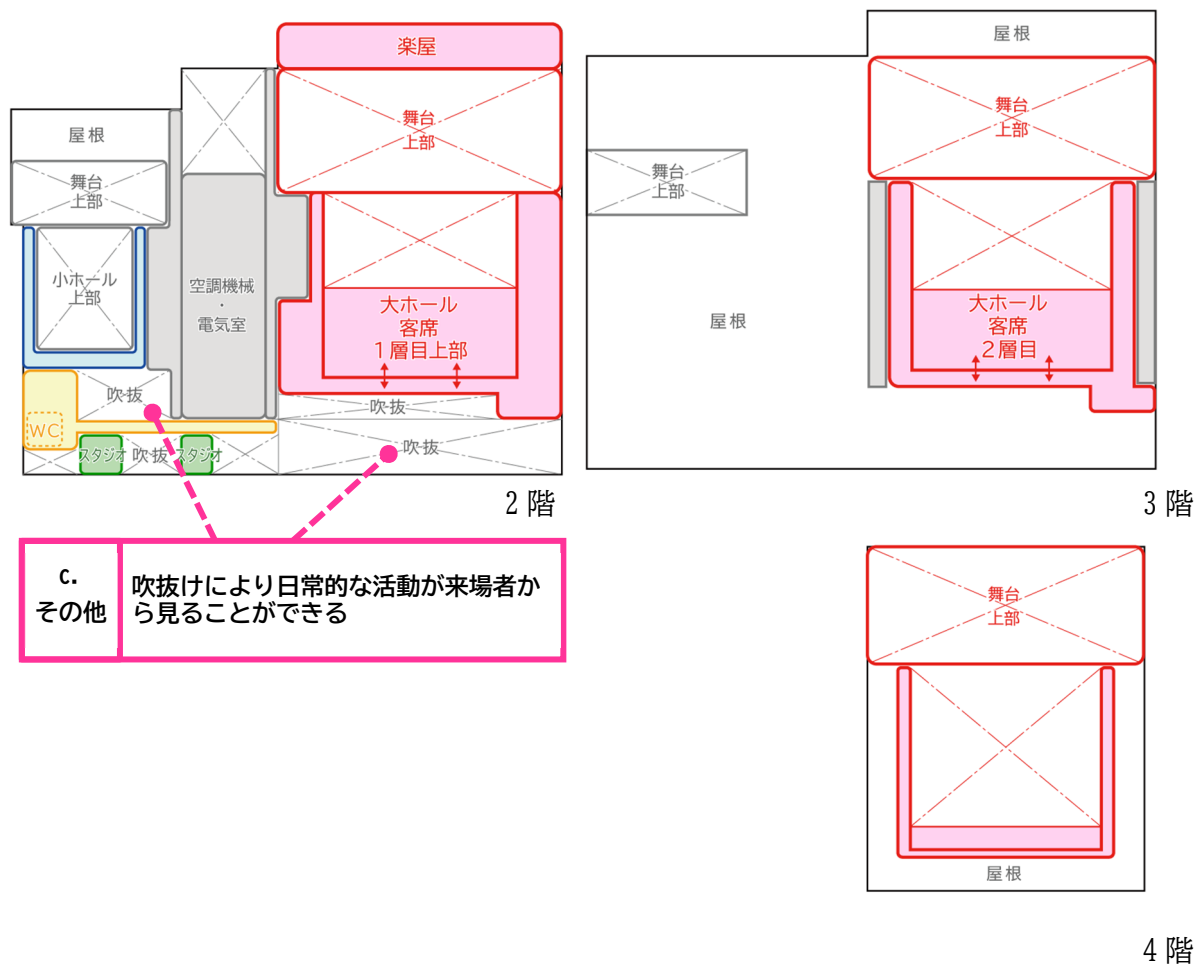


図 4.9 平面イメージ (2/2)

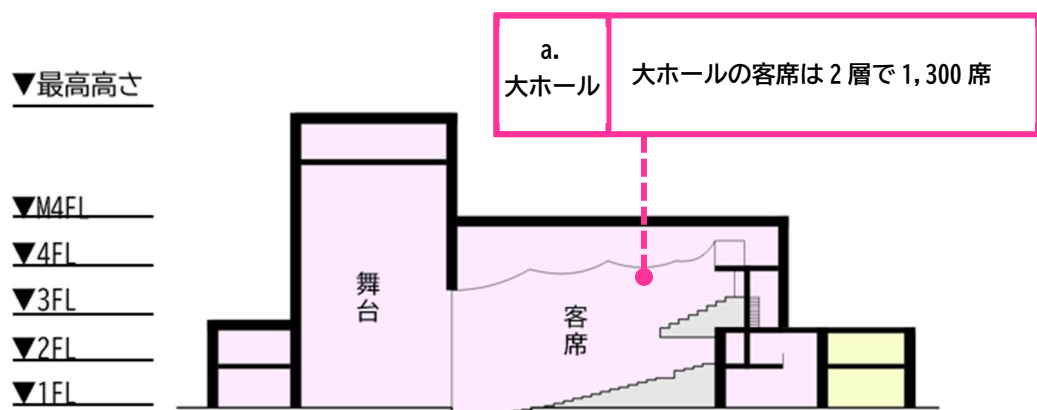


図 4.10 断面イメージ

4.4.5. 費用・スケジュール

建築基準法・配置・動線・機能の検討結果を踏まえ、費用・スケジュールに対する検討結果は表 4.13 のとおりです。

表 4.13 費用・スケジュールの検討結果

項目	内容
⑤ 費用	設計に加え、建物整備、外構整備、地盤改良、用地取得含む造成及び調整池の整備、備品費などを見込む必要がある。
⑥ スケジュール	造成工事分の工期を見込む必要がある。